

特定非営利活動法人

VOL.64

南国暮らしの会

2015年 夏・秋季号



トルコ カップドキア ラクダ岩
No.1136 大野京子氏提供

平成27年9月5日



NPO法人 南国暮らしの会

南国暮らしの会

(2015年 夏・秋季号)

目次

(敬称略)

平成27年度総会案内

平成27年度 南国暮らしの会理事長挨拶	No. 434	大野 悦子	1
平成27年度 通常総会議事録			2
平成27年度 役員会・支部長会議事録			4
平成27年度 役員・業務分担表			7
平成27年度 委員会の構成表			8

会員からの投稿

バリ島、イポー滞在記	No.1521	花房 徹	9
New Zealandを乳母車と共に移動50日	No.1686	弓野 国男	14
ハワイの魅力	No.1591	肥後 信彦	20
KLで愛犬とのLS生活	No.1514	長野 三雪	23
バンコク成り行き・気まま旅(ペナンからの小旅行)	No.1546	渡邊 照夫	25

南国写真サロン

29

フィリピン特集

マニラ近郊に住んで	No. 999	中山 恒夫	31
セブでの滞在	No.1410	加藤 正也	33
ダバオでの生活記	No.1473	名倉 孝	35
私とフィリピン	No.1144	小野寺 勉	37
フィリピンお役立て情報		会報部会編	41

支部便り

北海道支部便り	No.1285	桂 裕章	46
東北支部便り	No. 498	氏家 孝	46
関東甲信越支部便り	No.1118	肥後 憲尚	47
東海支部便り	No.1544	森 幸太郎	48
関西支部便り	No. 173	平山 三雄	50
九州支部便り	No. 581	朝永 清寿	50
ハワイ支部便り	No.1016	村林 修次	52
チェンマイ支部便り	No. 239	伊藤 寛	53
バギオ・パンガシナン支部便り	No. 227	斎木 一	54
ダバオ支部便り	No.1261	藤本 晴久	54
ペナン支部便り	No.1546	渡邊 照夫	55

部会伝言板

総務部会	No.1607	阿部 滋敏	56
広報部会	No.1207	宮原 正宇	56
会員部会	No.1108	山田美弥子	56

南国暮らしの会 支部一覧

57

友好団体紹介コーナー

58

編集後記

58

平成27年度(第18期)南国暮らしの会総会のご報告とご挨拶

南国暮らしの会 理事長 No.434 大野 悦子

このところの円安傾向で海外でのロングステイや旅行のメリットが減って来ておりますが、会員の皆様、如何お過ごしでいらっしゃいますか？

さて、5月30日(土)に国内各支部長と理事、監事にご出席頂き、「役員・支部長会」を開催致しました。各支部長から昨年と今年にかけて開催されました「NPO法人認証15周年記念行事」の報告がなされ、その他、この1年間の活動報告がなされました。

また、会の運営につきましても積極的な意見交換を行う事が出来ました。詳しくは、「役員・支部長会議事録」をご覧ください。

そして翌日の5月31日(日)には、平成27年度の定期総会が開催され、会員の皆様のご協力によりまして、第1号議案から第4号議案まで賛同を頂き承認されましたことに感謝申し上げますと共に、無事、総会を終了致しましたことを改めてご報告申し上げます。

さらに6月19日(金)には、NPO法人としての義務であります各種書類の提出を東京都庁と法務局に出向きまして提出し、すべて受理されましたことを重ねてご報告致します。

新任理事が多い中でこの1年間大過なく、お世話役を務めることが出来ましたのも会員各位のご支援のお蔭と理事一同感謝申し上げる次第でございます。

今年度は特に「細則」や「役員必携」の見直しに注力し、ホームページの更なる充実を図り、会員同士のコミュニケーションを密にするばかりでなく、一般の方々にも情報発信して新入会員の増加にも繋げていきたいと考えております。

冒頭でも申し上げましたが、このところの円安傾向で海外のLSのメリットが減ってきてはおりますが日本では高齢者が生き生きと生活を楽しむインフラがまだ十分に整っていない事から一昨年あたりから再びマスコミが「海外でのLS」に注目し始めました。

「南国暮らしの会」も発足して17年を迎え、当初入会された方々も多くが後期高齢者になられておりますゆえこれからの会の活動も多様な皆様のニーズに応えられるよう色々な分野の研究をしていきたいと思っております。

ますます皆様との親睦を深め、生きがいを感じられる楽しい会に発展出来ればと願っております。

最後に会の益々の発展と会員の皆様及びご家族の皆様のご健勝を願い、総会を終えてのご挨拶とさせていただきます。



特定非営利活動法人南国暮らしの会
平成27年度(18期)通常総会議事録

1. 日 時：平成27年5月31日(日) 10:00~11:30
2. 場 所：東京都品川区大崎1-11-1 南部労政会館 第5、第6会議室
3. 正会員数：463名
4. 出席者数：292名(内、総会出席者41名、書面表決者251名)
5. 審議項目

- (1)第1号議案：平成26年度事業報告及び会計報告・監査報告について
- (2)第2号議案：退任理事、新任理事の信任について
- (3)第3号議案：平成27年度事業計画案報告
- (4)第4号議案：平成27年度活動予算案報告

6. 議事の経過の概要及び議決の結果

司会の歌田理事は、今総会の表決権所持会員数が463名であり、出席者41名、委任状251名であることから定款第26条により、本日の通常総会が成立することを説明し、定款25条の規定により議長として会員No.1285の桂裕章氏(北海道支部長)を推薦し、満場一致で議長に選ばれた。

議長は開会を宣言し、まず審議の進め方の説明を行い引き続き議案の審議に入った。

7. 議案の審議

(1)第1号議案 「平成26年度事業報告及び会計報告・監査報告について」

大野理事長が平成26年度事業報告書(会報春季号P.3~8を参照)に基づき詳細な事業報告を行った。

次いで肥後理事が同年度の会計収支計算書、貸借対照表(会報P.9~10参照)に基づき詳細な決算報告を行った。

最後に山科監事から、当会は同定款等に基づき適切に運営され、収支計算書はいずれも正確である旨の報告が監査報告書(会報P.11参照)に基づき行われた。

議長は第1号議案について賛否を諮り、満場一致で承認された。(書面表決者含む)

※(本議案に関連する質問・要望事項)

本議案の会計報告に関連して次の様な質問・要望が出席会員の1人から出された。

「決算書のうち、海外支部に対する助成金については、各支部に対する支給内訳を総会の決算報告資料に掲示されたいと、一昨年より総会の席で要望しているが、実施されていないので、特段の支障がなければ次年度より掲示するべく、この場で決議して欲しい。」

上記要望事項については、席上賛否双方の意見が出されたが、最終的に歌田副理事長より「掲示の方法は別途検討するが、内訳を掲載することに特段の支障はないので、次年度から掲載することを約する。」との発言があり、質問者の了解を得た。

(2)第2号議案 「退任理事、新任理事の信任について」

大野理事長より、退任理事2名が発表され、退任理由として、青木方子氏は体調不良による辞任、有元義晶氏は関西支部長を退任するためであること、また新任理事3名が理事会において選任されたが、そのうち平山三雄氏は関西支部長有元氏の後任であることが説明された。

なお、在任理事18名に対し、1名増員となるが、定款の規定枠は20名につき、問題ないこと

が確認された。

以上につき、議長はその賛否を諮り、満場一致で承認され、被選者は就任を承諾した。(書面表決者含む)

①退任理事：No.513 青木方子、No.816 有元義晶

②新任理事：No.173 平山三雄、No.1640 川野俊次、No.1668 槇野昭一

(3)第3号議案 「平成27年度事業計画案報告」

大野理事長より平成27年度事業計画案(会報P.12参照)に基づき詳細説明がなされ、議長は同事業計画書案についてその賛否を諮り、満場一致で承認された。(書面表決者含む)

(4)第4号議案 「平成27年度活動予算案報告」

肥後理事より平成27年度活動予算案(会報P.13参照)に基づき詳細説明がなされ、議長は同活動予算書案についてその賛否を諮り、満場一致で承認された。(書面表決者含む)

8. 役員業務分担紹介と退任理事紹介

「平成27年度役員・業務分担表」に従い、大野理事長より新年度の役員の業務分担割り振りの説明及び、退任理事の紹介がなされた。

(1)副 理 事 長：歌田副理事長に加え、阿部滋敏理事が就任し、2名体制とした。

(2)総 務 部 会：阿部理事が総務部会長に就任し、歌田理事は副部会長として留任。宮原理事に変わり川野俊次新理事が総務部会に加入。

(3)会 報 部 会：青木方子理事が退任し、宮原正字理事が副部会長として加入。

(4)広 報 部 会：青木理事が退任し、宮原理事が広報部会長に就任。槇野昭一新理事が加入。

(5)HP委員会：HP委員会を広報部会からネット部会へ移管。(HP業務担当の歌田理事は留任)

(6)支部推進部会：有元副部会長が退任し、堀江理事が副部会長に就任。平山三雄新理事が加入。

9. 議事録署名人の選任に関する事項

議長は本日の総会における議案の総てが終了したことを告げ、本日の議事をまとめるに当たり、総会議事録署名人としてNo.750小松勝正氏を選任することを諮り全員異議なく承認した。

議長は議事の進行に関し出席者の協力を謝して、閉会を宣した。

以上、この議事録が正確であることを証します。

平成27年5月31日

議 長 桂 裕章 ⑩
議事録署名人 小松 勝正 ⑩

平成27年度南国暮らしの会 役員会・支部長会議事録

日 時：平成27年5月30日(土) 13:00~16:30

場 所：品川第一区民集会所 第2集会室

出席者：大野理事長(No.434)、歌田副理事長(No.996)、青木(方)理事(No.513)、
有元理事(No.816)、山田理事(No.1108)、宮原理事(No.1207)、渋谷理事(No.1208)、
金井理事(No.1244)、青木(一)理事(No.1309)、寺田理事(No.1388)、森川理事(No.1533)、
鈴木理事(No.1537)、山本理事(No.1578)、黒川理事(No.1581)、肥後理事(No.1591)、
阿部理事(No.1607)、堀江理事(No.1612)、山科監事(No.1068)、
桂裕章北海道支部長(No.1285)、氏家孝東北支部長(No.498)、
肥後憲尚関東甲信越支部長(No.1118)、森幸太郎東海支部長(No.1544)、
平山三雄関西支部長(No.173)、朝永清寿九州支部長(No.581)

新理事候補者

平山三雄(No.173)、川野俊次(No.1640)、槇野昭一(No.1668)

歌田総務部会長の司会のもと、大野理事長の役員会開催の挨拶があった。

1. 役員・支部長の自己紹介

歌田総務部会長の司会進行で出席者全員の自己紹介があった。

2. 役員・理事の選任について

ここより司会進行役が金井理事に交代し、役員・理事の選任について大野理事長から説明があった。

退任理事：No.513 青木方子、No.816 有元義晶

新任理事：No.173 平山三雄、No.1640 川野俊次、No.1668 槇野昭一

3. 平成26年度事業報告と南の会の現況

大野理事長より、事業報告があり、内容については会報春季号P.3~8を参照。

尚今年度はNPO法人認証15周年記念の年に当たっていたため各支部で記念の行事が行われた。

4. 平成27年度事業計画、役員業務分担

大野理事長から27年度の事業計画の説明がなされた。(会報春季号P.12参照)また、役員の業務分担について説明があった。(役員・業務分担表参照)

5. 各支部の活動報告及び活動計画(会報春季号P4~6と配信済み資料参照)

①北海道支部 桂支部長より

昨年7月北海道支部10周年記念として北海道新聞とタイアップし、北海道支部総会の記事を

掲載してもらったところ、180名の問い合わせがあった。本部より歌田副理事長を派遣してもらい7月に開催、70名の参加者があった。その結果として今年になり20名ほどの会員申し込みがあった。

北海道支部のロングステイの中心はチェンマイに行く人が多く、支部の中にそのグループが出来つつある。サロン会の回数を増やし情報交換の場所を増やして他のロングステイ先、地域を考えた方が良いのではないかと考えている。北海道支部に限って言うと役員の問題意識が低いので役員会の回数を増やしたい。本部からも積極的にやるよう指示を出してもらおうと助かる。

②東北支部 氏家支部長より

昨年入会された新入会員がフィリピン・ダバオに行かれ現地ダバオ支部長に世話になり、大変喜んでおられた。尚現会員数は9名で昨年と同数。

③関東甲信支部 肥後支部長より

今年度(26年度)の活動報告がなされ、特に昨年11月に開かれたロングステイフェアには関東甲信越支部から20名が参加した。その後会計報告がなされた。

ミニパソコン教室に関してはサロン会の始まる前、午前中開催するようにしている。

このため会議室を予約し、特に会員番号の古い方々(1~500番)に来ていただいてその会議室を活用していただけるよう思案中であるとの発言があった。

④東海支部 森支部長より

今年度(26年度)の活動報告がなされた。定例会は毎月1回開催されており、議題を決めて最後には必ず結論を出している。支部役員は定例会が始まる1時間前に集まって打ち合わせをする。平日サロン会は毎月食事会を兼ねて開催されている。定例会・平日サロン会で毎月2回程集まりがあるので年間にすると合計24回になる。

最後に会計報告がなされた。

⑤関西支部 平山支部長より

最初に会計報告及び活動報告が詳細になされた。昨年5月、関西国際空港で開かれた旅博覧会にブースを借り2日間にわたり南国暮らしの会として参加した。

新年度(27年度)の活動計画は例年通り実行したい。この指止れの下見ツアー、青春18切符で行く旅行等を企画したいと思っている。

⑥九州支部 朝永支部長より

今年度(26年度)の活動報告及び会計報告がなされた。詳細に説明があった後、MLより掲示板に代わったことにたいする発言があった。退会又は自然退会された会員は掲示板に代わってからは退会しても情報は入ってくる。パスワードをその都度、変更したほうがいいのか。また入会時の手続き、諸費用についても質問がなされた。(この問題に関しては理事会で検討中)

尚、会員部会長の山田理事より各支部より資料請求があれば、送付は可能との回答があった。

6. その他

有元理事から会員数の増減が知りたい。数字を実際見てみないと危機感が感じられないとの発言があった。

毎年、退会する人数と同数の人数が入会していたが来年度はそれが期待できない。

とりあえず現在の会員動向のデータをディスクローズし現状を把握する。

実際、昨年度(26年度)の会員数から現況の会員数を差し引きすると約80名程減少している。昨

年のから推測しても20名程度しか増えないだろう。

尚継続会員が減少している現状をしっかりと認識してもらいたい。

山本ネット部会長より昨年の3月よりMLからBBS(掲示板)に代わったが各支部としてどちらを評価しているかを知りたいとの発言があった。

桂支部長 MLに慣れている。BBSに投稿する人が少ない。MLは受動受信なので多く見られている。

氏家支部長 BBSはあまり見ていない。

肥後支部長 BBSは煩わしいメールを見なくていい。関東甲信越支部は新しくMLを作ったためこの問題は解決している。不便は感じない。

森支部長 BBSは見たくないメールを見なくて済む。しかしMLの方が評判がいいと思う。

平山支部長 関西支部のMLはよく見られている。BBSに関しては見ない人もいる。

朝永支部長 MLの方が評判が良い。

大野理事長より来年度予算のことで発言があり、会員数が減少する中で経費を縮小したい。28年度より海外で活動している支部長活動費や、各支部補助金を見直す方向で考えたい趣旨の発言があった。

以上で役員会・支部長会を終了した。

平成27年5月30日

NPO法人 南国暮らしの会

議 長

大野 悦子 ⑩

議事録署名人

金井 修二 ⑩

平成27年度 役員・業務分担表

◇ 理事業務分担 凡例：◎部会長 ○副部会長

2015 月 6 月 13 日現在

部門担当	担当理事	業務内容
I 理事長	434 大野 悦子	・会総括代表・総会、臨時総会招集・現状情報収集・資産管理 ・理事会、役員会招集・理事会議長・官庁関係資料の提出
II 副理事長	996 歌田 晃一 1607 阿部 滋敏	・理事長の補佐 ・各部会総括
総務部会 (事務局)	◎ 1607 阿部 滋敏 ○ 996 歌田 晃一 1309 青木 一義 1537 鈴木 元恵 1612 堀江 健夫 1640 川野 俊次	・定款（会則）等の改廃・日常運営案の作成・予算案の作成・官庁関係資料の作成 ・総会、例会、懇親会、催しの等企画及び実施、同会費徴収、テーマ策定 ・会場設定、運営、記録、発表、総会議事録作成・各委員会のまとめ及び確認 ・理事（役員）会テーマ策定資料・理事（役員）会招集実施（会場設定、運営管理、記録、発表） ・理事（役員）会議議事録作成・税務関係（法人税、資産税管理等） ・南の会必携編集作成
(経理)	○ 1591 肥後 信彦 1537 鈴木 元恵	[経理業務]・入会金、年会費徴収・一般収支・金銭出納記録・決算の事務 ・会費納入票回送
会報部会	◎ 1309 青木 一義 ○ 1207 宮原 正宇 1108 山田美弥子 1208 澁谷 幸一 1578 山本 雅巳 1581 黒川 敏彦	・会報等の原稿収集、編集、整理、校正、印刷、製本、発送 ・会員への情報提供及び会員からの情報収集 ・年3回（新年・春・夏秋）発行
広報部会	◎ 1207 宮原 正宇 ○ 1388 寺田 光江 1668 檜野 昭一	・「南の会」の対外的広報活動・マスコミ取材窓口（ロングステイ財団窓口） ・他機関への投稿・新聞、雑誌等の関係情報収集
ネット部会	◎ 1578 山本 雅巳 ○ 843 土井 研一 1581 黒川 敏彦	・南国掲示板（BBS）運営 ・会員メールアドレスの管理
(HP)	996 歌田 晃一	[HP業務]・「南国暮らしの会」HP作成／修正／保守
会員部会	◎ 1108 山田美弥子 ○ 1208 澁谷 幸一 1388 寺田 光江 1533 森川 文枝 1668 檜野 昭一	・会員入退会・会費等の納入チェック・問合せ者の資料等の作成及び発送 ・会員名簿作成・問合せ向け「南の会」案内書編集作成 ・会員からの情報収集・会員証発行 ・会報等の送付先の把握及び宛先シール作成（会報部会と連携）
支部 推進部会	◎ 1244 金井 修二 ○ 1612 堀江 健夫 173 平山 三雄 1640 川野 俊次	・支部統括・支部活動支援

監事	712 高田 勝弘 750 小松 勝正 1068 山科 滋雄	・理事の業務執行状況の監査・この法人の財産の監査 ・定款に違反する重大な事実が発見されたら総会を招集し報告又は所轄庁に報告 ・理事会業務執行に対する会員苦情等の精査
----	--------------------------------------	--

理事、監事の業務は本分担表に記載なき事項でも、本会定款に記載ある事項はこれを優先する。

相談役	732 馬場 章介	・会運営のキャリアを活かし理事長及び理事への支援・その他
-----	-----------	------------------------------

平成27年度 委員会の構成表

平成27年6月13日

- ◆委員会について（委員の委嘱状は発行しない。但し、この構成表が全会員に配布される。）
- ・部会は部会運営上の調査・研究等を委員会に委嘱することができる。
 - ・理事会は特別委員会を開設し、特命事項を委嘱することができる。
 - ・特別委員会は理事会委嘱の特命事項の調査・研究を行う。
 - ・委員会の委員長、副委員長は理事会に於いて選任し、長はその任を遂行する。
 - ・委員長、副委員長は理事が兼任し、当該部会に委員会の議事録にて経過報告を行う。
 - ・構成員は委員長に一任する。但し理事会にその構成員の報告を行う。できるだけ有職会員の意向も取り入れた会の発展に寄与する人選をする。
 - ・委員会はできるだけ半年から一年以内に答申を行う。案件の答申は部会経由で総務部会にてチェック後、理事会に諮り、決定後は当該部会にて業務を遂行する。但し、単発的な案件は理事会決定後、実行委員会で業務の遂行を行うこともある。
 - ・特別委員会の委員長はその答申を理事会に提出する。決定は理事会に委ねる。

◆委員会および構成員 凡例：◎委員長 ○副委員長 *理事以外（凡例ごとに会員No順掲載）

総務委員会	◎1607 阿部滋敏 ○996 歌田晃一 434 大野悦子 1537 鈴木元恵 1591 肥後信彦 1612 堀江健夫 1640 川野俊次
規定・必携編集委員会 官公庁申請	◎1607 阿部滋敏 ○434 大野悦子 996 歌田晃一 1591 肥後信彦 *1017 光城保之 *1361 木村秀男
支部推進委員会	◎1244 金井修二 ○1612 堀江健夫 173 平山三雄 1640 川野俊次
経理委員会	◎1591 肥後信彦 ○1537 鈴木元恵 *1032 瀧川清人
会報編集委員会	◎1309 青木一義 ○1207 宮原正宇 1108 山田美弥子 1208 澁谷幸一 1578 山本雅巳 1581 黒川俊彦
広報委員会	◎1207 宮原正宇 ○1388 寺田光江 1668 榎野昭一 *1118 肥後憲尚
HP委員会	◎996 歌田晃一 *1391 十河和夫 (北海道支部：*245 佐藤真理子、九州支部：*581 朝永美代子)
ネット委員会	◎1578 山本雅巳 ○843 土井研一 1581 黒川敏彦 *1178 長谷川愈晃
会員担当委員会	◎1108 山田美弥子 ○1208 澁谷幸一 1388 寺田光江 1533 森川文枝 1668 榎野昭一 *923 永田隼人
特別委員会	事業拡張調査委員会：都度任命
	苦情処理委員会：都度任命
国内支部	・北海道支部長 1285 桂 裕章 ・東北支部長 498 氏家 孝 ・関東甲信越支部長 1118 肥後憲尚 ・東海支部長 1544 森幸太郎 ・関西支部長 173 平山三雄 ・九州支部長 581 朝永清寿
海外支部	・マニラ支部長 999 中山恒夫 ・バギオ・バンガシナン支部長 227 斎木 一 ・チェンマイ支部長 239 伊藤 寛 ・ペナン支部長 1546 渡邊照夫 ・ゴールドコースト支部長代行 586 磯崎興志 ・セブ支部長 1124 田上 篤 ・ダバオ支部長 1261 藤本晴久 ・クアラ Lumpur 支部長 1682 守田 章 ・ハワイ支部長 1016 村林修次 ・バンコク支部長(現在不在)

バリ島、イポー滞在記

関東甲信越支部 No.1521 花房 徹

2015年3月から、約一か月インドネシアのバリ島に、その後の約一か月間をマレーシアのイポー市メルバレーに滞在した。

花粉症の我々夫婦は、毎年3、4月は、スギ花粉を避けて、花粉のない海外に滞在することになっている。横浜の自宅で、バリ島の土産物屋で購入したバリ音楽のCDを、聴きながらこの文章を書いている。バリ島伝統のガムランという楽器の重厚で時には軽快なリズムが快い。バリで癒された日々を想い出させてくれる。

62歳で退職した私のロングステイ暮らしも、6年目に入った。この間にロングステイのパターンもはっきりとしてきた。

冬季は、年末、年始と約二か月を、寒さを避けて、台湾の台中市に滞在する。これは振英会館を常宿としている。夏は、避暑のために、約三か月北海道にシーズンステイする。北海道の、「おためしちょっと暮らし制度」を利用している。

花粉の飛ぶ春は、花粉の無い場所に移動する。いままで行ったのは、グアム、ハワイ、チェンマイ、クアラルンプール、ニュージーランド、オーストラリア西海岸等。

冬、夏と違って、春は行く場所が決まっていない。毎年、どこに行こうかと頭を悩ませている。悩むのも又、楽しからずやである。

いままで、いろんなところに行って暮らしてみても、いちばん住みやすいのは日本であると改めて実感している。

それは、安全、安心で、日本語が通じ、食べ物や水も旨い。孫の顔も見れる。友人にも会える。本音はずっと日本にいたい。しかし、重大な問題がある。

それは、暑くて耐え難い日々があるし、寒くて体調を損なう日々もある。春には花粉が飛び交い、花粉症の人には地獄の季節となる。

サラリーマン時代はこの環境に耐え生活して

いたが、桎梏のとれた退職人生で同じ場所にとどまって暮らす必要もない。住み慣れた木造の我があばら家が一番落ち着くが、耐え難い季節には住む場所を変えて生活をする贅沢も悪くはなからう。

それに、残念ながら、私たちの両親は4人とも他界してしまい、愛犬も5年前に死んで後顧の憂いもなくなった。

人からはよく「そんなに長く家を空けて、大丈夫ですか?」とか「経済的によくやっていますね」とかご心配をいただく。

しかし、世の中には貸金庫という便利なものもあるし、世界中どこにいても、ネットで繋がることのできる。

また、海外での生活は、昨今の円安にも拘わらず、海外(主としてアジア)の物価安のせいで、思ったほどにはお金はかからない。

それに日本ではついつい無駄買いをしがちだが、海外で物品を購入すると、いずれ日本に持ち帰るか現地で処分する必要があるため、無駄買いはあまりしなくなる。つまり生活は簡素になるのである。

1-1 バリ島訪問

今年のスギ花粉飛来の3、4月にどこに行こうかと、迷っていた。4月は、マレーシアのイポー市メルバレーに予約がとれた。

ここは3月は満室で、仮に空いていてもメルバレーに一か月以上の滞在は、現地での足の便の無い我々には飽きがきてしまう。

こんな時に、南の会の月例会で、たまたまグループ別情報交換会でバリ島部会に参加してMさんに遭遇した。もちろん、Mさんは、宣伝めいた話はしなかったのであるが、自己紹介の時に、バリ島に在住で、宿を持っているという話をされた。

それで、翌年の春の花粉避難旅行の行き先が決まらなかった私は渡りに船とばかりにバリ島滞在を決めた。

1-2 バリ島の宿

バリ島のMさんの経営する宿は、客室が二つのこじんまりとした宿であった。空港には、Mさんと、日本語が上手なバリ人の娘婿と、孫まで出迎えてくれて、家族の一員になったような雰囲気である。

場所はチャンゲーというバリ国際空港から北西に車で、一時間足らずの所。送迎は無料である。西欧人が闊歩する繁華街から離れているせいか落ち着いた静かな住宅地だ。

バリ島には、南の会の会員が、少なくとも二人、宿を構えている。南の会の趣旨とは異なるので、お二人ともあまり宣伝はされていない。

一人は、会のホームページに「知らざるバリ」という記事を掲載されているKさんで、大変なバリ通である。

もう一人は、娘さんがバリ人と結婚して、バリに住んでいるMさんである。

我々の滞在したMさんの宿には客室は二室で、両室とも二階にあり、隣りあわせなので、もし隣の部屋に、滞在する客があれば、自然と仲良くなる。

一か月の滞在中に、南の会の方が2組、それ以外が4組ほど滞在されて、親しくしてもらった。

一階にはMさんや、娘夫婦が住んでいるので、何か問題でもあれば直ぐに助けを呼ぶことができる。庭の一角には大きなプールもある。青いタイルが美しいプールで、苦勞して運んだという巨大仏頭が微笑んで水面を眺めている。

また、この家の庭も素晴らしい。Mさんが植物の選定をしたということだが、一階の食堂から、如何にも南国らしい繁茂した草木を鑑賞できる。

食事は一階のこの食堂で食べるのであるが、我々は、朝食は毎日戴いたが、それ以外は、殆



LSの住居

ど自分たちで用意した。月8,000円で、この食堂隣接の台所を借りて調理して自分たちの好きなものを食べていた。

もちろん、ここでも食事は準備してくれるし、外にいても、かなり安く美味しいものが食べられる。しかし、我々の旅は、自前での食事の調達を、モットーにしているのので、ここでもわがままをいって、台所を貸してもらった。

食料調達は、Mさんたちが買い物に行くときに、車に同乗させてもらった。大きなカルフルがあり、品物も豊富だった。

1-3 バリ観光

神秘の島といわれるバリ島は、滞在しているだけで体中に霊力がしみ込んでくるような思いに捉われるが、またそれ故に魅力的な観光地でもある。

観光地情報に関しては、観光ガイドが山ほど出ているのでそちらを参照するか、ネットで検索願いたい。ここでは下手な説明は省かせていただく。

南の会のホームページにも、「知られざるバリ」として、バリの文化や風習が詳しく紹介されている。

我々にとって、バリ島は三回目の訪問で、今回は花粉避難が目的で、観光に関しては全く積極的ではない生活だった。そんな我々が今回行った観光地の一つは、ウブドという山間の芸術家が多く暮らす場所と、その近くで世界遺産に登録されたという棚田である。このウブドは20年前に行って好印象があったので、今回も一度は行きたいと思っていた。たまたま、南の会のAご夫妻が、一週間足らずの予定で、こちらに来られウブドに行くと言ったので、ご一緒させてもらった。ウブドから足を延ばして行った世界遺産のライステラス(棚田)を見ながら、バリ音楽の生演奏を聴きながらの昼食は、格別の思い出である。また、ご一緒させてもらったAご夫妻の奥様はその後、バリ伝統音楽教室でガムランに似た木琴の様な打楽器を教わっていた。その人の趣味によっていろんな楽しみ方ができるのがバリなのであろう。

私は写真が好きなので、バリ舞踊の写真をたくさん撮った。

1-4 バリの奇祭

バリにはニュピというお祭りがある。バリ・ヒンズーの新年を迎える祭である。この日には島中の電気が消える。飛行場の電気まで消えて、この日は飛行機も欠航となる。ここまでやるかと信じられないお祭りなのである。

神秘の島バリ人の精神構造が、なんでも合理的に科学で理解しようとする最近の日本人とは少し違うのだということが理解できる。

この夜は真っ暗闇に浮かぶ星空が見ものである。南十字星や、オリオン座が見えるが、星が見えすぎて、日本で見るオリオン座とは見え方が違うほどだ。

ニュピ前日には、おごう祭りがあり、繁華街のクタまで見学に出かけた。「おごおご」と呼ばれる、青森のねぶた祭りの人形を小さくしたよう



ニュピ祭り

な張りぼてのお化けや、悪霊の人形が行進する。立錫の余地も無いほどの人で、オーストラリアが近いせいか西洋人観光客の姿も多かった。

このおごおごは、その日の内に焼却してしまうらしい。そして、悪霊祓いをして清らかな新年をバリの人々は迎えるのである。

1-5 バリでの生活

バリの朝は、5時には空が白んで、鶏が鳴き出す。小鳥も唱和するので自然に目が覚める。それから、近隣の家から、バリ・ヒンズーの祈りの声が聞こえてくる。夜が明けると二階の客室からオープンテラスに出て、外を見る。

緑滴る眺めが広がる。バナナの葉や、花バナナが、眼に映り、テラスをわたる風がほほに心地よい。雨季は終わり、乾季への変わり目で、気温は最適である。日本の寒さに慣れている私には天国に思える。

TVもない。時間は、ほぼ100%自分の為につかえる。伴侶は、食事の支度や洗濯等に時間はとられるが、後は自分の自由に使える。それで、日がな一日、株のチェックをしたり帰国後購入予定のモバイルルーター、WIFI方法の選定をしたり、持参した趣味の英語、中国語会話の勉強をしたり6月末から出かける北海道の旅の寄り道ルートを検討したりと、インターネットが使えるおかげで結構飽きずに暮らすことができた。

Mさんの娘さんに、教わってFACEBOOKも始めたり、インターネットで電子書籍を購入して読書したりもした。

直ぐ近くにゴルフ場があるが、プレーフィーも高く逡巡して、しばらく遠ざかっていたら、その内ゴルフに行きたいとも思わなくなった。

バリ訪問時はドリアンの季節であった。道端でなにげにドリアンを売っている。固いイガイガのとげをつけた如何にも人間を拒否しているかのような果物である。

しかしそのイガイガの中身は、得も言われぬ濃厚な美味の南国の天使の贈り物である。人はこれを「果物の王様」と呼ぶ。この旨い食べ物には問題がある。それは、異臭である。このチーズの腐ったような匂いは強烈で、袋に入れておいてもこの匂いは外に漏れてくる。日本では一個5,000円以上のドリアンが、ここでは露店で山積みで売られている。500円位で買える。バリにいる間、随分とドリアンを食べた。

1-6 バリの生活費

(2名、29日間 為替レート 100円=10,800ルピー)

宿代 88,000円

(円払い、台所使用料 8,000円含む)

生活費 約111,000円

(入出国税 約12,000円含む)

合計 約199,000円

2-1 マレーシア イポー市メルバレーでの生活

マレーシアは、メルバレーというゴルフリゾートのなかの、コンドミニウムに住んだ。

2015年会報の春季号にマレーシア特集があり、メルバレーに関しては、現在、在住されている名塚さんが詳しく紹介されている。

現地へのコンタクト方法などはそちらを参照願いたい。私は一か月滞在の経験を、短期滞行者の為の情報として、なるべく重複を避けて述べる。

約一か月間のバリ島生活は、ゴルフ無しのインナートリップ的生活を楽しんだが、ここでは対照的に28日間連続ゴルフを楽しんだ。

2-2 ゴルフ場

メルバレーには、27ホールのコースがあり、プレー代は宿代込であるので、一日中無料でまわり放題となる。文字通りゴルファー天国である。

コースは、距離があり、ウォーターハザードが多くて、しかもグリーンもそれなりにうねっているので、挑戦し甲斐のあるコースである。

私の行ったのは、4月9日から約一か月であるが、日が上がると日差しがきつくて、なかなか18ホールを回る気がしない。大方の人も9ホールで上がるようだ。リゾート内に、新しい建物を、建設・売り出し中で、この販売促進のせいかゴルフ場は、毎日手入れされて、二年前に来た時よりは見違えるような整備のされ方であった。

コースの途中で、冷水を供給してくれる設備や、トイレも随所にある。ゴルフ場内に、小さなサルやオトカゲが闊歩していたり、それにカワセミのような綺麗な鳥が飛び交っておりゴルフをせず散歩だけでも楽しい。

2-3 コンドの部屋、設備

滞在したコンドの部屋には2LDKである。シャワー室、トイレも、二つあって夫婦二人で暮らすのは十分な、広さである。冷蔵庫も大きくて、全く問題ない。火力も強く、炊事も快適だ。少し問題があるとすれば、日本と違って水がそのままでは飲めないで、これは別途購入することになる。

滞在する場合は予め頼んでおくと部屋に飲料水を用意しておいてくれる。



メルバレーのコンド



メルバレーのコンド

2-4 交通

メルバレーはイポーの駅からは少し離れている。私は今回はKUL LCC空港から、タクシーを予約しておいた。300RM(約一万円強)と少々高いが、3時間の行程を考慮すればタクシーはある意味安くて便利、安全である。

前は飛行機が強風で離陸できず4時間ほど遅延して深夜にKULに、ついたが、予約のタクシーは待っていてくれた。バスで来る人も多いようであるが、大きなゴルフバッグを持つての移動は、少々きついので我々はタクシーを利用した。

タクシー予約は、日本語堪能な担当者にメールで頼めば良い。

ここに短期で滞在する人の悩みは、移動である。長期滞在ビザのMM2Hを取得して在住している人は、大抵車を保有しているが短期の人は、このゴルフリゾートから、買い物等にでるのにタクシーか、自家用車に同乗させてもらうしかない。行動範囲は狭まる。タクシーは、メルバレーから、イポーの町のなかのスーパー(イオン)までの往復で、40RM(約1,400円)だ。私たちは、一週間に一度程度の買い出しにタクシーを利用した。ゴルフ場のフロントですぐに対応してくれて時間を指定すれば、きちんと時間通りに迎えに来てくれる。大変信頼のできるタクシーである。

コンドからゴルフ場までは、バギーを貸してくれるので、それで行く。約15分かかる。このバギーはゴルフリゾートの中だけの限定使用で、リ

ゾート外には行けない。ドライビングレンジや、アスレチックジム、テニスコートもこのリゾートの中にあるのでバギーでいける。但し、ガス欠になったり、パンクしたりと、故障が多いので、滞在中は、いつも不安をかかえて乗車していた。

また、滞在初日にもバギーが用意されておらずに、担当者との連絡に苦労したので、これから行く人は、バギーの事をはっきりと確認しておいたほうがよい。

2-5 生活

日本人は読書家が多いようだ。先人たちのおいていった本がたくさん残ってる。ゴルフ場の受付の横に図書置場があり自由に借りる事が出来る。

ここでは、NHKだけだが、TVも見れる。又、インターネットも無料で使える。前は、三月中旬から一か月半ほど滞在したが、3時過ぎになると、バケツの底が抜けなような雨が毎日決まったように降ってきた。今回は4月9日から行ったが雨季が例年より早く終わったのか、それほど毎日は雨が降らなかった。不思議とゴルフをする午前中は雨が降らなかった。

2-6 メルバレーの生活費

(2人、30日間 為替レート 1RM=35円)

宿泊費	約147,000円
	(宿4,100RM、ゴルフ保険90RM含む)
	光熱費込、ゴルフプレー権付
生活費	実績101,000円
	(バギー代 28,000円を含む)
合計	248,000円
(参考)	ゴルフ バギー レンタル 約1,000円
	(9ホール、2人乗り)
	ゴルフ トローリ 180円

2-7 利用した飛行機と金額

Air Asiaを利用した。一年前にKL経由パスに行ったときに、初めて利用して、問題なかったので今回も使った。当然のことながらLCCな

ので値段が安い。

もちろん、サービスは期待できないが、始めからそう思っていれば、腹を立てることもない。

LCC故、フライトが突然キャンセルになったら困ると思うが、いままでの所、そんなでたためには遭遇していない。

横浜在住の我々にとっては、羽田空港発に乗れるので、近くて、空港へのアプローチ料金(バス代)も安い。又、予約が片道単位なので途中下車が自在である。海外滞在期間が長くなっても運賃は影響を受けない。

クアラルンプールのLCCT(新LCC空港)は、とても広くて、まごついたが、Air Asiaのチェックインが出来るカウンターが多くて、便利である。

・飛行機代(2人分)

羽田 KUL経由 バリ	98,000円
バリ ~ KUL	19,000円
KUL ~ 羽田	69,000円
合計	186,000円

以上

New Zealandを乳母車と共に移動50日

関東甲信越支部 No.1686 弓野 国男

ロングステイという言葉を意識したのは今から6、7年前であろうか？

そして私は会社を辞めてから自由な時間が持てるようになり、収入も限定的になり如何にして経済的にかつ有意義に長期間海外で滞在するかを考えるようになっていった。

海外で暮らすには英語が必要と考えた。英語を学習することに決めたのが63歳、まず地元鎌倉市で旅行英会話教室の募集があったのでそこに参加。1週間に1回の外国人講師のレッスンを受け3か月ほどでちょっと物足りないので外国で勉強したいのでどこにしようかと迷ったがAustraliaへ行くことに決めた。オーストラリアは90日間は観光ビザで滞在可能であるので2010年秋シドニーへ行った。

英語学校とホームステイ先は現地代理店で紹介してもらい、11月、12、1月の3か月を短期留学することになった。

学校へきている生徒は20代のワーホリ(Work & holiday制度を利用して留学をしている人)が多く1年間の滞在の権利を得て海外生活を楽んでいる人たちがほとんどでした。

課外授業

クラス授業が午後3時ころ終わると近くの酒場へ繰り出した。アジア系のクラス仲間とつたない英語でコミュニケーションをした。その中に今回New Zealandへ一緒に行った人がいた。由美子といい北海道からワーホリできていた。互いワインが好きで、Wineを飲みにあちこちのワインバーへ行った。

彼女は1年のワーホリを終え帰国、しばらく私は彼女とは会わず連絡も取らずにいて、2013年10月、メールを送信したら、結婚して子供を産み、そして離婚していた。いわゆるシングルマザーになっていた。北海道、札幌で由美子と再会した。幼児が幼い時から英語に親しめる環境に置きたいとのことなので、二人して幼児が2歳に成るころに海外へ行こうと決めた。さてどこに行こうか？ あれこれ検討し試みた、候補地としてハワイのホノルル、マレーシア、New Zealandなどで、まずMalaysiaをお試し体験することにした。

マレーシア

2014年6月単独で羽田空港から飛び立った。飛行機料金往復(Air Asia)インターネット予約

で60,114円<受託手荷物20kg、食事付>。

KL、キャメロンハイランド、ペナンを10日間かけて見て廻った。KLやペナンでは支部長様に案内頂きコンドも数件見学出来た。

夫々に一長一短があるが他の国と比較してマレーシアは物価は安いし治安も良いので良い印象を持って帰国した。最終的にどこに行くかを2015年1月下旬に決めた。ハワイは気候とかGOLFの環境など素晴らしいが、経済的な予測がつかないので断念した。マレーシアは昨年 Deng 熱騒ぎがあり、道路事情などを鑑み今回は見送った。New Zealandは一度も訪れたことがない場所なので此処に行くことに決めた。

New Zealandへ

出発前日夜、北海道から鎌倉へ乳母車に乗った空飛(そらと)2歳未満と大きなスーツケースを押して由美子がやってきた。H27年2月24日18時30分成田空港離陸予定の日が来た。2時間前に成田空港に着けばラウンジでゆっくりとビールでも飲めるぞと楽しみにJR横須賀線エアポート成田に乗車。乗車後車内アナウンスで戸塚駅で人身事故が発生とのこと。ノロノロ運転が始まり、すったもんだの挙句成田空港に着き着席出来たのは出発20分前だった。航空チケットは出発前近くに購入したためやや高め、近くの代理店HISで1人151,720円。受託手荷物23kgまで無料。

成田からオークランドまで10時間50分のフライト。夕食と朝食が付いている。ワインがサービスで飲めるがなぜかビールが無い。

離陸前にCAが隣の由美子の席の膝の上にいる子供空飛(そらと)のシートベルトを締めるように言ったのでスペアのベルトをしたら窮屈で慣れないこともあり強烈な鳴き声を上げた。まだ寝る時間ではないが周囲に気を使いながらなだめても泣き止まない。しばらく泣いていたがやがて疲れて寝てしまった。

早朝帆の町Aucklandへ到着。入国審査も問題なく通過。初めての入国なのでNZDドルの持

ち合わせがない。為替レートは90円、空港内で取り敢えず7,000円をNZDに交換する。62.80NADが手元に。レートチェックすると111.46NZDとかなりの手数料を取っている。

空港からCITYまではシャトルバスが運行している。バス料金1人16NZD(約1,520円)乗り方としては前方の入り口から乗車して運転手に行先を告げる。すぐ料金を告げられ言われた料金を支払えばよい。

今回一番苦心したのは大きなスーツケース2個、それに乳母車があるので、バス等混んでいると場所を確保するのが大変であった。Busは25分位走るとやがて賑わいのある街なかへ。Queens Streetがオークランド中心地のメインの道路。下車してホテルまでスーツケースと乳母車を押す。街はアップ、ダウンのある坂道が多い。HOTELはバス停のMyers Parkから一本奥の道路にあるBianco Off Queen Apartment。2ベッドルーム、宿泊費176,106円6泊。1泊単価29,351円。

高額なNZの宿泊費

1か月一回発行のニューズレターによると、NZは年々治安の危険も少なく移民が増加していて、60歳以上のアクティブシニアの留学先として選ばれ、体験留学をしてみたいと思う人が増加し、それでオークランドの不動産も年々上昇していて、昨年は10.4%も上昇率とか。ロサンジェルス、トロント、パース、ボストンより値上がりしているそうです。加えて政府による政策による不十分な新築供給、中国人による投機資金流入等で。いずれにしてもNZ人の賃金、初任給与が高めに設定されているので全体生活費が高めなのは予測できる。

アパートの部屋に荷物を置いてからまず食事だ。冷蔵庫、レンジ、食器、全てそろっている。NZに着いた時から会食は控えめにして、自炊を中心にするのを念頭に置いていた。

昼前3人で外出CITYの町を散策、まずスーパーを探す。道行く人に近くにスーパーはない

か、日本食専門店は近くにないか聞いた。幸い歩いて7、8分のところにスーパーがありそこで買い物、昼食は腹も減ったことなので港近くの店でチャンハンとビールを注文すると小瓶ビールで9 \$ (860円)支払った。それ以後ビールは外では飲まないことにした。

携帯電話のSIMフリーiPhoneを持っているのでVodafoneの店に入りプリペイドSIMを33 \$で買う。国内では1か月間通信、通話が使える。

街の中心部は、高層ビルが立ち並びレストラン、ショッピング施設が集まっている。

SKY Tower

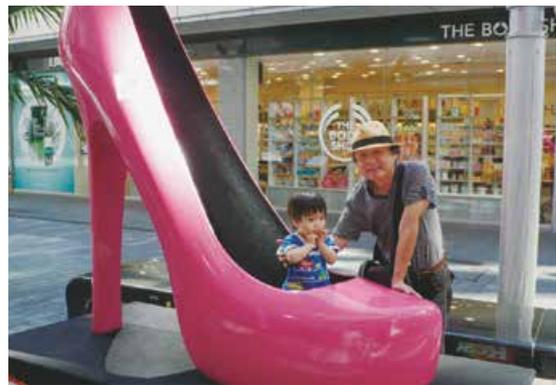
オークランド最大のランドマーク、SKY Towerははるか上にそびえている真下に行くとバンジージャンプでタワーの先端から落下していく人が見える。だれでも挑戦できるが、私は高所恐怖症なので飛び降りる勇気はない。スカイタワーは地上328mの高さがあり南半球で最も高いタワー。タワーの中にはカジノ、レストランを有す。

Towerから北へ7、8分下るとプリトマート駅がある。ワイテマタ湾に近くフェリー乗り場と隣接する。街にはフリー循環バスが走っている。7~10分間隔で赤い色のボデーが目立つのですぐわかる。便利なので何度か利用したが50セント1人必要。

先に書いたがオークランドの魅力の一つに坂が多い。歩き回るのに特に乳母車で上り坂はき



オークランド 空飛と由美子



私と空飛

ついが登りきると緑豊かな景観と美しい港が見える。港の眺めが最高。

港にはヨットが停泊し、その周辺はおしゃれなレストランが点在する。休日の日に港に行くとヨットレースが行われていて、国際色豊かで応援する各国のファンが詰めかけていた。

アラーム音

アパートで朝食の時間にパンをトーストするため電子レンジを使用した。使い方設定が悪かったのか突如煙が出てきた。慌ててレンジをOffにした。部屋に充満した煙に反応するかのように天井に取り付けてある警報音が激しくなった。私はあわてて窓を開け放ち部屋の煙が出ていくのを待った。わずか3、4分の出来事だが警報音の音が長く感じた。翌日にアパート全体の部屋に警報が鳴り宿泊客全員に外に避難するアナウンスが流れる。客の大勢は疑心暗鬼で外に出る。やがて消防車が到着。火も煙も出てないので消防士は緊張している様子がない。誰かの客室のどこかのアラームセンサーが作動したらしい。すぐ消防士は帰って行った。

オークランドで、特にどこかツアーした訳でないが6日が経過した。気が付けば明日から泊まるホテルが無い。日本で6日間のみ予約でNZに来たので現地で探すしかない。

航空チケットとホテルの予約

2、3日前からホテル、コンドミニアムのいくつかをチェックしてきてきたがインターネット上

に手ごろな価格の宿泊先が見つからない。聞くとところによると、今週はクリケット大会がオークランドで開かれるのでホテルはどこも満杯とのこと。いよいよ尻(けつ)に火が付いたと、あれこれ考えクライストチャーチへ移動することにし、チケットをインターネットで予約。前日予約なのでオークランドからクライストチャーチ1人片道、37,500円。ホテルを探すのはつかれたので現地HISのオフィスに行き2ベッドルームのコンドミニウムを2週間分予約をとる。

4037.60NZD、約375,500円、1泊平均額26,800円をHISに払い何とか翌日からの生活拠点を確保。

Christchurch

3月3日、昨夜スーツケースに残った食糧など詰め込み国内線で約2時間弱オークランドからクライストチャーチへのフライト。空港からCITYまではシャトルバスで1人8\$、(約750円)、20分ほど走ると住宅街のバス停で下車。

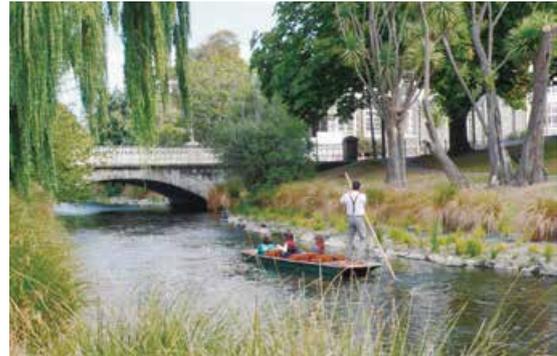
Pavilion HOTELはそこから歩いて5分。HOTELは2ベッドルームで居間が広い。キッチンと併用だがソファと家具に高級感がある。1泊26,800円は仕方ないのか？ここで20泊することになり、6日間の延長はじかにHOTEL側と値段交渉。6日間で104,580円、1日平均17,430円で落ち着く。1泊9,400円直接交渉のほうが安くなった。

クライストチャーチは南島に属すNZLAND第三の都市でありそして南島の玄関口でもある。中心部を流れるAvon Riverでのパンティングなど、優雅な英国風な面影が残っている。

2011年2月に起こった大地震で街は甚大な被害に見舞われた。教会、歴史的な建造物、特に古い建物は崩壊した。現在復興に向けて工事を進めているが更地や崩壊した建物の鉄骨がむき出しなのが多い。コンベンションセンターを立てる予定だがまだ始まったばかりだ。街中にはコンテナショップが並び、近くをトラムが走り観光客を楽しませている。



クライストチャーチを走るトラム



Avon River

Hagley Park (ハグレイ公園)

立ち入り禁止教会跡から歩くこと10分ほど大きな公園がある。ガーデンシティと呼ばれるクライストチャーチはいたるところ公園がある。その中でも大きいハグレイ公園は日比谷公園の15倍と言われる。園内にはテニスコート、ゴルフ場、ラグビー、クリケット、湖、外周の歩道をジョギングする人、エイボン川でボートをこぐ人。特に市内を縫うように蛇行するエイボン川は水が透き通った川。人気なのが棒を櫓にして漕ぐイギリス独特の小舟。ゆったりと美しい花咲き乱れる風景の中を下っていく風情は見ものだ。我々のホテルは公園から5、6分のところにあり夕方散歩したり、GOLFをプレイするのに最適な場所だ。12ホールレンタルクラブで35NZDで廻れる。

紙管で作った教会(Transitinal Cathedral)

日本人の建築家坂茂<ばんしげる>はダンボール製紙管の支柱で教会を建てることを提案、Cardboardのフレーム構造でスタンドグラ



紙管で造られた教会

スなどを用い寄付金で崩壊した跡地に臨時に教会を建設。市民のためのイベント会場になっている。もちろん観光客も来る。

買い物はHOTELから歩いて10分ほどでスーパーがある。そこで肉や野菜、ワインなど買った。ビールの瓶6本パック入りを買うとかなり荷物になるが乳母車の荷台の下に収納すると手元が楽になった。食事は肉類が多く、ポーク、ビーフ、マトンやラム肉をよく食べた。魚類は白身を売っていたが高額なので買わずにいた。時々刺身が無性に食べたくなったが、帰国するまでは我慢した。ソーセージも比較的安いので購入したが大きめなので中芯まで火が通るのに時間を要した。

Free Market

現地の休日はマーケットに行くようにしていた。野菜が安く新鮮で手に入るからだ。復興地のRe-Startのバス停から30分、Riccarton Bushマーケットへいく。フリーマーケットで野菜、古着、バーガー、玩具等様々な物を売っている。ラズベリーソフトクリームをたべた、美味しい。マーケットの規模も大きいし、歩いても運動になる。声かけられて、葡萄が安いので袋いっぱい買ってしまった。

3月はNZでは初秋に当たり雨など降っている朝は肌寒く、暖炉にガストーブが自動的に入る。昼間太陽が出ているときは外出にワイシャツで済む。湿度も低く気持ちがよい。



HTLの居間

日常生活

折角ニュージーランドまで来たのだから有名な観光地へいけたらいいと思ったが、例えばミルフォードサウンド、あるいはロード オブ ザリングのロケ地ホビット村。いろいろ計画したが移動費とか住居費、時間を考え断念した。

散歩、買い物以外は、家の中では日本にいる時と全く同じで、インターネットを使って日本の株式市場の動向や株価チェックを怠りなくする。昼時間日経平均株価が2万円を超えた。実に15年ぶりのことだ。まだまだ上昇の予感があった。日本市場はNZ時間で13時からオープンする。4時間の時差だ。ネット回線が悪い時は途中で途切れるから注意が必要。

ホテルのフロントでDVDを借りて映画を見た。日本語の字幕作品はない。私には英語の音声のみで聞き取れるレベルの英語力はない。英語の字幕で見るが正確に理解しているとはとても思えない。

2歳未満の空飛が時々部屋に入ってくる、好奇心旺盛でいろんなものに興味を示す。電子辞書、デジカメ、サングラス、テレビのリモコンスイッチ、予測不能な行動をするのでハラハラしながら様子を見ている。特に土産店へ行ったときには。

Waiheke Island

クライストチャーチを3月23日に離れオークランドへ。フェリー乗り場から35分中型の船でワイヘキ島へ。往復1人35 \$(日本円3,255円)。

人口8,000人余りの自然豊かな島、NZ人のリゾート地、夏は地元の人や観光客でにぎわう。

島内循環バスは30分から1時間の間隔で島のフェリー乗り場から出る。島の中心は、OneroaとOnetangi島にはスーパーや海沿いに洒落たレストランやカフェが点在する。宿はブッシュの中に点在する1戸建ての別荘タイプが多い。我々もこの島に20泊する事になった。

土日など予約が取れない人気宿は、空き部屋見つけて移動を余儀なくされ、島内を荷物と乳母車一緒に4回ほど引っ越しを繰り返した。

ワイヘキ島はワイナリーが20箇所以上あり、バス停近くのワイナリーへ試飲と言いながら数か所見学に行った。ワインは高級赤ワインでタンニン控えめのメルローが有名で、テイスティングには1,000円程払って飲むことができた。しかしボトルは高価で購入することはなかった。

初秋ではあるがビーチサイドには日光浴や泳ぐ人も見られた。オネタンギ海岸はNZで1番美しい海岸と呼ばれている。夜海岸へ出ると星が



ワイヘキ島のワイナリー

くっきりと輝いていた。自炊だけでは飽きる為、朝食を海に見えるレストランで食べたが2人分、53.60NZD(日本円4,985円)。朝食としては財布に影響が出た。

お薦めの店はオークランドCITY中心にある「ジ オキシデンタルベルジャン ビア カフェ」。ムール貝をガーリック蒸しにして、ベルギービールを飲みながら食べると美味しい。

要した主な出費額

宿泊費

八つのホテル、ロッジの宿泊費(49泊)

1,001,920円

移動費

成田、オークランドの往復(一人)、オークランド⇄クライストチャーチ 120,700円(二人)、他現地での乗り物代等

326,490円

食費、雑費

ランチ、米、味噌等の現地での食費等 約29万円

総合計 約162万円

あとがき

当初3か月の予定で計画したが経済的観点から短縮した。従ってLSではなくMiddle Stayとなってしまった。機会があったら又再訪したいと思う。英語での交渉はほとんど同伴者、由美子がおこなった。そして私の英語力はかなりひどいことを認識させられた。最後にNZLANDで触れた人たちは皆親切でフレンドリーであったことを伝えたい。



ハワイの魅力

関東甲信越支部 No.1591 肥後 信彦

1. 魅力

ハワイに6月の1カ月間滞在するようになってまだ3年目の新参者です。それまでは新婚旅行を含め6回訪問しましたが、何度訪れてもまた来たくなるハワイの魅力にはまり、南の会入会後は毎年訪問し、今後も例年行事にしようとして楽しみにしています。

ハワイの魅力はワイキキが絵を描いたような桃源郷を実現していることではないでしょうか。世界各国から来る色とりどりの観光客の幸福なオーラが町中に満ち溢れて、歩いているだけでうきうきした高揚感を実感することができます。

朝カラカウア通りからワイキキ海岸を歩くと、波の音と小鳥のさえずりが聞こえ、サーフィンをしている人、通りをジョギングする人、老夫婦や新婚と思しきカップルが手をつないで散歩するなど平和な光景に満ちています。青空のもと、ヤシの木々を通して海やダイヤモンドヘッドを望む、ピントのぴったり合った景色を眺めるたびに来てよかったと心から思えるのです。



ワイキキビーチ

6月の気候はからっとした晴天が続き、昼は爽やかな暑さ、夜でもクーラーをかけることはめったにありません。ワイキキの北側の山にあたって上昇気流が発生するため、山では雨が降りますがワイキキでは傘を差したことがありま

せん。ぱらぱらする程度はありますがおかげでその後は虹が出ます。1か月の滞在で多分これまでの日本での人生分くらい見たような気がします。今年は二重の虹がほぼ360度完全な形で現れたのにはびっくりでした。

ワイキキ地区は観光客にあふれ、警官もいますので夜出かけても何ら問題ありません。ただし中華街に行く時は昼間だけになっていますし、ホームレスも見かけます。



朝のカラカウア通り

2. 費用

東南アジアの安さに慣れた身からすると滞在費用が痛いところです。昨今の円安も効いています。南の会の会員の一番人気であるワイキキバニヤンで1ベッドルームが1週間9百ドル~千ドル、私の泊ったアイランドコロニーのスタジオタイプは1カ月約15百ドル~21百ドルです。義兄と部屋をシェアしますので、航空券代お土産代を含め今年の総合計は約40万円でしたが、夫婦の場合1ヶ月間では最低約60万円はかかりそうです。

ワイキキバニヤンに1カ月滞在するご夫婦はお二人ともゴルフをされますので100万円かかるかと昨年おっしゃっていました。今年は円安ですので120万円以上かもしれません。

しかしワイキキには蚊や野良犬はおらず、歩

道に穴や障害物もなく、道路の横断で身の危険を感じることもありませんのでそれらを含めたコストと割り切るほうがよいかもしれません。



ロイヤルハワイセンター

私は昨年思い切って手頃なコンドミニウムを購入しました。使用しない時は賃貸に出せますので半分は投資目的です。幸い同じ人が1年以上借りてくれていますので今のところ助かっていますが、おかげで今年は使用できませんでした。45㎡の1ベッドルームが、6か月以上なら月18百ドル、1カ月単位なら1、2月と7、8月は23百ドル、それ以外は2千ドルです。ただしエージェント手数料1割、管理費+地代+固定資産税で1カ月当たり9百ドル近くかかりますので利回りや空室リスクを考えると投資としては必ずしも有利ではありません。ハワイの費用を賄って多少の黒字が出るくらいでしょうか。なおアイランドコロニーはスタジオタイプで17万ドル位から売り物が出ているようです。

3. 食 事

自炊を心がけたうえワイキキの中心にあるフードパントリーでの買い物は最小限ですませ、ドンキホーテやウォルマート、ファーマーズマーケットを利用するようにしました。アメリカだけに私が美味しいと思うステーキ用牛肉がフードパントリーでも100グラム当たり240円ですし、米も1キロ380円で十分美味しいです。カレールーは持参したものの、ドンキで2個5ドルでした。

外出では夕方のハッピーアワーなら4人でビールとつまみを取ってチップ込み約80ドルで

した。4年前1ドル80円の時はやかったですが、今や普通のラーメンでも11ドルとして税+チップで13ドル=16百円となれば気楽に外食には行けません。昼食なら中華街の飲茶は4人でビールと5品で70ドル程度なので満足感があります。



アラモアナのスポーツバーにて

4. ゴルフ

6月のハワイ支部は週2回の定例ゴルフ会を行うほか、運河に面したアラワイパブリックコースなどで楽しめます。パブリックは55ドル+カート1台20ドルです。定例会は行き帰りのチャーターバス代込95~135ドルでした。足代を考慮すれば日本より多少安いのでしょうか。南の会コンペは、芝目がきつく、うねった速いグリーンに皆さん手こずっていたようでした。



南の会コンペ帰りのバス

5. 日 常

ゴルフ、テニス、朝の散歩、海沿いのカフェでコーヒー、部屋でビール、ラナイで読書、昼寝、双眼鏡で他人のゴルフ拝見、カードラウンジでコーヒー+新聞+PC、ショッピングセンター散

策、街歩き、ハナウマでシュノーケリング、ダイヤモンドヘッド登頂、KCCファーマーズマーケットで朝食、ワイキキで海水浴+シュノーケリング、高級ホテルのロビーで休憩、夕方フラショー見学、夕日観賞、花火観賞、動物園コンサート観賞、レンタカーでオアフ島一周などなど。来年は麻雀もやる予定。

今年多かったのは海水浴。といっても泳ぐわけではありません。ビーチの防波堤の浅いところに腰をかければ干潮時はちょうど肩の高さが水面で、大きな露天風呂に入っているようなものでした。手拭いがあれば頭に掛けていたでしょう。水が澄んでいて熱帯魚が泳ぎ、景色が綺麗で周りには若い女性の水……サングラス必携です。



シュノーケリングのメッカ ハナウマ湾

6. 雑感

- 昨年より増えたのと感じたのは中国人観光客でした。ロビーが騒がしいと思ったら中年女性が大声で口論していました。ワイキキのホームレスも増加傾向です。カピオラニ公園で寝ているようです。
- インターナショナルマーケットプレースの工事も進んでいます。来年春完成予定と書いてありました。ワイキキ中心にありながら庶民的でローカルな雰囲気が好きだったのですが、新しいショッピングセンターに生まれ変わるようです。シンボリックなバナヤンの木は残されています。
- カラカウア通り沿いには様々な高級店が軒を

並べていますが、あまりお客が入っているようには見えません。ギャラリー1階の店員も暇そうです。アラモアナSCしかりです。これで新たなSCが出来て大丈夫なのかとつい心配してしまいます。

- クヒオ通りの丸亀うどんは相変わらず行列が出来ています。外人でも手軽にてんぷらを食べられ、チップがないので入り易いと聞きました。確かにチップの煩わしさには未だに慣れません。日本人が多く行く店では、チップを払わない旅行者が多いためか、伝票に最初からサービス料15%が記入されているところがあります。これはこれで便利な面もありますが、間違えて更にチップを払わないよう注意しましょう。

7. シャングリラツアー

ホノルル美術館主催の別荘見学ツアーが毎日何回か行われています。東海支部の小鷹さんご夫妻のお勧めがありましたので行ってきました。

ラッキーストライクという煙草の創業者の一人娘が莫大な相続財産を使ってイスラム様式の趣味のよい別荘をダイヤモンドヘッドの裏側に建てたものです。90分かけて建物内を回り、美術品や当時の状況を説明してくれましたが、小さなお城のような雰囲気、庭から眺める海の景色も良く、行って良かったと思いました。ツアー料金は27\$で予約が必要ですが、日本語ツアーもありますので、一度足を運んでみたいかがでしょう。



シャングリラから見た裏ダイヤモンドヘッド

KLで愛犬とのLS生活

関西支部 No.1514 長野 三雪

最初にKLに来たきっかけは「海外暮らし」という名前のロングステイを始めてみようかなという人のためのエージェントがあり海外のあちこちに(オーストラリア、ニュージーランド、タイ、マレーシア、ハワイ等)にコンドミニアムを持っていて、1週間くらいから数か月まであちこちで、プチ暮らしを楽しめますよというところの会員になっていました。そのエージェントを通じてKLには、数回遊びに来ていました。

遊びに来ているうちに、もうすでにこちらに数年住んでいる人と知り合いになり「マレーシアの生活はいいよ～、遊びに来るのもいいけど一度住んでみたら?」と言われその気になりました。

もともと私は将来、海外に住んでみたいなどという願望もあったので、主人の定年を待って取り敢えず1年間住んでみることにになりました。主人もゴルフが好きだしのんびりとした南国の生活も悪くないな～と思ったようでした。

その頃は、物価ももっと安かったですし。何故愛犬を連れてきたかという、犬や猫を飼っている人は皆そうだと思うのですが、もう家族同然なのです。

仁太くんと言いますが、途中からもらった子なのですが初めからすごく私に懐いてくれて、夕方になると仁太は部屋からいなくなり、「あれ? どこに行ったのだろうか」と思ったら玄関で

じっと主人が会社から帰ってくるのを待っていました。

冬とか寒いし暖房のある部屋に戻りなさいよといっても、まったくお構いなしでいつも帰りを待っていましたね～。子供たちからもそんなことされた事ないし、「なんて健気でかわいい子なのだろう」と思いますよね。

また帰ってきたら、もう主人にじゃれまくりその辺りを走り回って喜んでくれるし、それは主人だけでなく私や子供たちが外出して帰ってきたらそうなのです。それで迷うことなく、もちろんマレーシアに連れてきました。

こちらの国は、犬を嫌う国なので始めはちょっと心配でしたが、中国人とか飼っている人はたくさんいるから大丈夫ですよと教えてもらい、手続きは大変でしたが決心しました。うちは最初は1年で帰国したので、帰るときには日本の検疫に狂犬病の注射1か月あけて、2回しなければいけないのですがその時に採血をしてもらい、血清分離をしてもらい、血清部分を検査機関に送り狂犬病抗体検査の証明書を提出しなければいけません。またこの後、記入します。クアラルンプールでは、私たちは犬や猫を飼うことのできるコンドミニアム(Saujana Villa Condominium)に住んでいます。勿論プールやテニスコート、ジムも付いています。



住んでいるコンド

獣医さん、約1か月ごとに連れて行くシャンプー、カットしてくれるペットサロンも車で10分から15分のところにあるし、仁太くんも快適に過ごしています。ワンちゃんのドッグフード、おやつなど売っている店も沢山あります。



ペットサロン



愛犬と散歩

さて、それでは海外に犬を連れてLSをしたい方の為に必要なことをざっと書いておきますね。書類の書き方などは、関西空港にある検疫所の電話、Fax、Emailを記入しておきますので、変更していることもあるかもしれないので連絡を取ってもらい聞いていただく事が一番確実ですので、宜しくお願いします。

まず、日本からの出国について記入しますね(必ず1~4の通りに処置してください)。

マレーシアの入国のためではなく、日本へ帰国するときの条件です(永住で連れて帰らない人は抗体検査は必要ではないです)。

1. マイクロチップの装着

動物病院でマイクロチップを装着してもらい

ます。装着年月日、マイクロチップ番号が記載された装着証明書を発行してもらってください(獣医さんの名前、捺印してもらってください)。

2. 狂犬病予防注射(1回目)

必ずマイクロチップを装着してから接種してください。その時も獣医さんの名前、捺印が要ります。

ワクチンのメーカー名とマイクロチップNo.を狂犬病予防接種証明書の余白にでも追記してもらってください。

3. 狂犬病予防注射(2回目)

必ず1回目の狂犬病予防注射の日から30日以上経過してから接種してください。

1回目と同様、狂犬病予防注射証明書を発行してもらってください。

4. 狂犬病抗体検査

必ず、2回目の狂犬病予防注射のあとに採血をしてください(同日でも可)。

動物病院で採血と血清分離をもらい、血清部分を検査機関に送ってください。

詳しい送付方法は、検査機関に直接お問い合わせください。

(財)畜産生物科学安全研究所(企画調整室)

〒229-1132 神奈川県相模原市橋本台3-7-11

Tel : 042-762-2775 Fax : 042-762-7979

[Http://www.riasbt.or.jp/services/test/rabies/rabies.html](http://www.riasbt.or.jp/services/test/rabies/rabies.html)

検査結果は約2週間後に送付されてきます。まずこの研究所にお金を振り込んでからになります。

これまでの間に、マレーシアの入国許可証を取得しておかなければいけません。私は、1回目はわからなかったのでエージェンに頼んで取得しました。その時に狂犬病接種証明書の英語版が必要です。

私は自分で作ったフォームに獣医さんの名前、サインを書いてもらったのを送りました。

マレーシアの機関を記入しておきますね。

Jabatan Perkhidmatan Veterinar

Address, Jabatan Perkhidmatan Haiwan
Selangor, Lot 2, Jalan Utas 15/7 40630 shah
Alam, Selangor

Tel.+603-5510-3900 Fax.+603-5510-3903

Email : jphsell@po.jaring.my

日本の関空の検疫も記入しておきます(ここで出国、入国に必要な書類をもらえます、PCからでもプリントアウトできます)。

農林水産省動物検疫所 関西空港支所

検疫第一課 中原一馬

Tel : (072) 455-1956 Fax : (072) 455-1957

Email : ka-ken@ags.maff.go.jp

書類の書き方、英語での書き方などとても親切に教えてもらえます。私は何度かここに行き

書類も、もらってきて教えてもらいました。

愛犬を連れて行く前に獣医さんで健康診断もしてもらいその証明書も必要ですが、当日(うちは出発1日前に)関空の検疫所に連れて行き健康診断もしてもらわなければいけません。その時にまた検疫のチェック済みというタグだったと思いますが証明書をもらいやつと飛行機にのれます。また飛行機会社にも事前に予約が必要です。各航空会社により規定があるので問い合わせが必要です。事前に色々なことをしなければいけません。愛犬と海外でも一緒に住みたいので、えいや〜!と気合を入れながら書類作り、また獣医さんに連れて行ったことなど思い出しました。これから連れて行こうと思われる方も頑張ってくださいね。面倒くさい人は、専門の会社があり全部やってくれるようですが、聞いたらかなりお金もかかるようですよ。

バンコク成り行き・気まま旅(ペナンからの小旅行)

ペナン支部 No.1546 渡邊 照夫

今年6月15日から4泊5日でタイのバンコクへ行って来た。ペナンからエアアジアで直接行けるので、旅行の1か月前ぐらいにふと思ひ、飛行機とホテルを予約した。タイはペナンからは距離も近いが、プーケットには行ったことがあるが、バンコクでの滞在は初めてなので、一度はどんな処か行って見なくてはと、思い立ったのがきっかけで急遽決めた。とは言っても全く、予備知識もないので不安でもあり、バンコクに行って何を観たり、食べたりしたらいいのか全くの素人状態。でも事前に、にわかになネットでも調べたり、ペナン支部の方々に行ったことのある人に聞けば何とかかなと、旅行前の準備を試みた。そして、「成り行き任せの気ままな小旅行」と考え出発当日を迎えた。

1. 大雑把な旅行計画

旅行先は、バンコク市内。4泊の内2つのホテルに2泊づつAgodaで予約した。

以下の様な内容で、簡単な計画書を作成した(家内も初めてだし、事前の資料として作成)。

〔観 光〕

- ①ワット・ポーとワットポータイマッサージスクール(タイマッサージの総本山、施術もできる)
- ②カオサン通り ③ワット・アルン(暁の寺)
- ④アユタヤ遺跡群 ⑤王宮 ⑥セントラルワールドプラザと近くの伊勢丹の有るショッピングモール
- ⑦「NALAYA」のチープな花のリボンのバッグ(お土産用に) ⑧ジムトンプソンの家、アウトレットの店 などと列記。

〔食 事〕

食ではバンコクのNo.1の人気店「ソムタム・ヌア」(タイ料理 ①絶品のソムタム・タイ ②フライド・チキン ③タイ風焼きそば ④魚のピリ辛甘酢あんかけ。また、「マンゴー・タンゴ」でマンゴージュース、マンゴー・アロハなどデザートに)。

「ソンブン・シーフードレストラン本店」にて有名なプーパッポンカレー(カニ卵カレー)発祥の店(秋篠宮様や小泉元首相が訪問した写真も飾ってある店。味美しくて、手ごろな価格)。

日本食としては、「FUJI」、「まい泉」(とんかつ)、大戸屋、CoCo壺番屋など。

ローカルな食べ物としては、路上の屋台食としてタイ・ヌードル、トムヤム・ヌードル、細切り豚の串焼き、チキンの串照り焼き、丸天、タイカレー、パッタイ：焼きそば、カオマンガイ、いか焼き、エビフライ、つくね串焼き、バターコーン、モチモチ揚げパン等々。みな食べてみたいものばかり。

〔地理的な把握〕

まず、グーグルマップにて滞在ホテルの位置や観光・食事する場所の把握、そして、ネットにてバンコク市内のバス、モノレール・地下鉄の路線図を探し(英語と日本語併記)プリントアウトし、移動の際の有力な武器として使用した(帰る頃には紙はボロボロでした)。

2. 旅の始まり

<1日目>

ペナン空港を定刻に出発、定刻にバンコクドムアン空港に到着(PM7:45)。2万円を両替し(1バーツ≒38円 円安厳しー)、空港タクシー(700バーツ)にて最初のホテルに約35分程で到着。チェックイン後すぐにコンビニを探し、Changビールとウイスキーを購入。帰り道で屋台の串ものを買ってホテルに戻る。1日目はホテルの部屋で飲みながら明日以降の作戦を練りつつ床に就く。

<2日目>

ホテルでの朝食後、ホテルのシャトルバスで繁華街であるサイアム地区へと向かい、サイアムパラゴンのショッピングモールをウインドーショッピング。また、そこから歩いて(7~8分)の伊勢丹があるショッピングモールへと行き、「NARAYA」を現地の人に聞きながら探し当て、お土産用に小物を10点程購入。モノレールで一駅戻り(サイアム駅)でノボルテホテル横の「ソムタム・ヌア」を探し当て、昼食を取った。ソムタム・タイ、フライドチキン、タイ風焼きそば等みな美味しい。マレーシアで食べる料理の味とは異なりすんなりと日本人に受け入れられる好みの味がする。その後、モノレールを乗継ぎ、ジムトンプソンのアウトレット店を探し当て、予てより家内が購入したく探していたクッションカバーを4枚GETできた(値段は高価ではあるが、ここでは街中のジムトンプソンの店より3分の1で買えた)。夕食はホテルの隣駅にあるショッピングモールの中の「FUJI」でペナンでは中々食べれない日本食を堪能した。

<3日目>

2つ目のホテルに移るので、ホテルでタクシーを呼んでもらい次のホテルへ。しかし、住所や地図も示したのに運転手が道が解らず、最後には方向感覚の良い私が道を教えながらホテルにたどり着く(タクシー運転手はごまんといるが、道を知らない運転手が多いのは常です)。

昼前のチェックインを終え、休息後、ホテルのシャトルバスを利用し、最寄り駅からモノレール地下鉄を乗り継ぎ、船で川を渡り「ワット・アルン」三島由紀夫の小説に出てくる「暁の寺」を見に行くことにした。しかし、何ら問題なく行けたのですが、大規模な改修工事を行っており、全面足場が架かり、入場料を払ってまで見る価値もないと判断し、外から見学(建造物はとても手の込んだもので完成したらとても立派な寺院群になると想像できる)。川下り・上りの水上船や、川を横断するボート等、多くの船が

行きかう様は、普段なかなか経験で出来ないことが出来て、良い思い出になった。夕食は、また、「まい泉」でとんかつ定食を美味しく食べた。店員のサービスも細やかで、ほっとした。

<4日目>

朝食後、今日はバンコクから北に約80kmほど離れたアユタヤ遺跡群に行こうと決め、しかもツアー予約もしていなので、行き方は、バス、タクシー、電車と有るが、冒険だけれど電車で行けたら旅の良い思い出になるだろうと実行した。「フアランポーン」駅まで行き、地下道で繋がっている国鉄に乗り換えて「アユタヤ」駅まで行く(20バーツ/人)、10:05発→11:24着の切符を買ってホームで待つが、待てど暮せど電車が来ない。



フアランポーン駅舎

始発なので遅れることはないと思っていたが、結局50分も遅れて出発、しかも約90分程の所要時間なのにさらに30分ほど遅れてアユタヤ駅に着いたのは午後1時30分を回っていた。電車は子供のころ乗った、昔懐かしい東海道線の列車のようで、窓は手で上下させ開閉式で、全開にして走った。車内に飲み物等の物売りが来たり、車掌が切符拝見とハサミで入札したりと、窓から見えるのどかな田園風景や庶民の生活ぶりが垣間見れた。電車が遅れる原因は単線部分が多く、上下線の行き来で待つことがしばしば有り、遅れるのは当然と思った。それでも遅れを気にするのは、我々ばかりで(日本人は我々の

み)、現地の人は何ら気にする様子もなく昼寝をしながらのんびりとしている。車内は空いていて4人掛けのボックスの椅子に座って来れた。アユタヤ駅に着き、トゥクトゥクで600バーツを500バーツにして遺跡群に向かった。



アユタヤ駅とトゥクトゥク

5か所ほど廻ったが大した感動を覚えず早々にバンコクへ向かうことにした。



アユタヤの遺跡群

が、帰りも同じに国鉄で帰るにはリスクが多すぎる、まだ、バンコク市内に戻り、見たい所も有るし、夕食の時間も考えなくてはならない。そこで、バンコクまでバスタクシー(60バーツ/人、10人乗り程のバンタイプ)で帰る判断をした。これが正解で、電車より早く無事バンコクの「ビクトリーモニュメント」駅まで戻れた。夕食の時間まで十分あるし、「ジムトンプソンの家」もナショナルスタジアム駅より歩いて見に行くことができた。そして、今日最後の夕食は待望の「ソンブン本店」へもこの駅から歩いて(10分程)行



蟹卵カレー

くことが出来、ペナン支部の皆さんから教えて戴いた「蟹卵カレー」他を美味しく食べることが出来、お土産話も合わせて出来ると思った。

<5日目>

ペナンに帰る日。無事なら大きなトラブルもなく自宅に戻った。

3. バンコク旅行の感想

- ①下調べはしたが、当日その時になってから天候等を考えつつ、成り行きで決めながら進めた。とにかく分からないことは、現地の人に片言の英語で聞き、判断し進めることができたので不安ながらも大いに自信がついた。
- ②食事は、何もかも美味しく、日本人の好む味だし、日本食の店も多く、遜色なく美味しい。
- ③タイ人の人柄は、とても優しく、親切であった。礼儀も正しく好感が持てた。
- ④タイ語の文字は全く分からない。ホテルマン

はじめ街歩く人に英語で多少なりとも通じたのでよかった。

- ⑤ペナンと違い、モノレール、地下鉄があるので移動は楽であった(はじめは切符の買い方や、改札の出入り等まごついたが慣れたら問題なし)。
- ⑥車の運転は(バイクも含む)マレーシアに比べたらマナーが良い。飛ばして車を追い抜いたり、無謀な運転はなかった。ただし、バイクタクシーが現地の人の足になってるせいか運転手以外の乗客はヘルメットをほとんど被っていない。マレーシアは100%被っているが。

4. 終わりに

旅はやはり、はじめて行く所は特に、ましてや外国においては、下調べを十分にして、無知による楽しさが半減することなく、嫌な思いをすることを避けたいと思う。今回は、成り行きで気ままに行動したが、十分ではないまでも思ったより、楽しく、目的を達することができたのは、行った人の話や、ネットによる情報を持ち得たからだと確信します。

皆さんも、旅行に行かれることも多いと思いますが、同じように感じているのではないのでしょうか？ 皆さんも楽しい旅行ができますように！！

尚、ペナンへの訪問される予定がございましたら、遠慮なくお声をおかけください。

ペナン支部一同、心から歓迎致します。



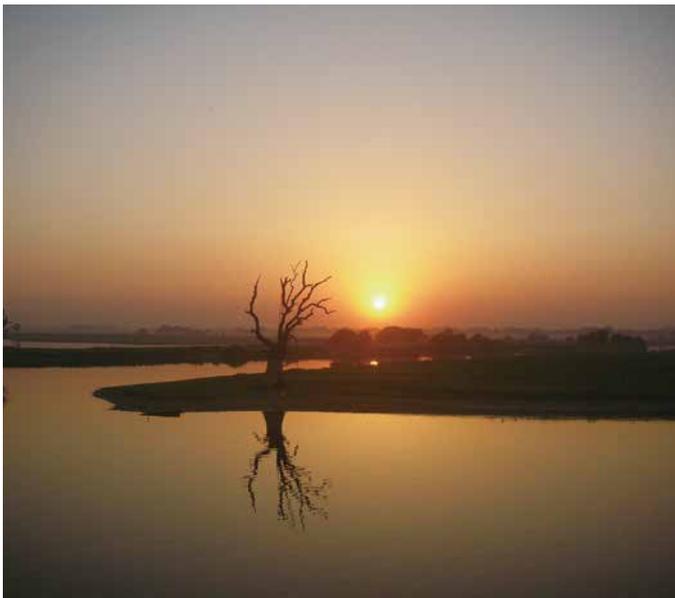
南国写真サロン



スコータイ遺跡
No.1207 宮原 正宇氏



灯火のもと、客を待つ(ラオス、ルアンプラバン)
No.1017 光城 保之氏



マンダレー郊外の夕日(ミャンマー)
No.40 平澤 信氏



バリ島の格安コテージ
No.1668 榎野 昭一氏



ダニンゴン駅(ヤンゴン)
No.1047 関口 幹二氏



昔の生活風景(チェンマイ)
No.1563 西野 裕之氏



アイランドピクニック(セブ)
No.1410 加藤 正也氏



プーケット(タイ)
No.1607 阿部 滋敏氏



ボラカイ島の夕景(フィリピン)
No.163 宮崎 哲郎氏

フィリピン特集

マニラ近郊に住んで

関東甲信越支部 No.999 中山 恒夫

私たち夫婦は、定年後にはどこか暖かい所に住みたいと考えていました。今から13年ほど前の現役中に、マニラ郊外カブヤオに家を求めました。その後定年間近に、現在の家を建て、引っ越して6年になります。フィリピンに来た当初は、友人たちに「毎日何をしているの？ ゴルフばかりでは退屈でしょ？」とよく言われましたが、マイペースで南国生活を楽しんでいます。では生活の一部を紹介いたします。

1. 毎週水曜日に近くに住む日本人を中心に日本レストランで行われる昼食会です。

たまには、フィリピンの友人も参加し、近況報告、ニュース、など気の置けない人々が集まり、スペシャルプライスの200ペソのランチを食べながら、楽しい時間を過ごします。その後、近くのスーパーマーケットで1週間分の食材の購入をいたします。



週1の昼食会

2. PRA日本人会南ルソン支部の月例会が毎月第2日曜に行われます(PRA日本人会とは、フィリピンの永住ビザを持っている人たちの会です)。

毎回、1時間ほど講演と称し、セキュリティー問題、フィリピンの歴史、成り立ち、

社会構成、フィリピン人と日本人との考え方の違い等々、時には専門家を招き講演をしていただいたりしています。その後昼食をとりながら、懇親を深めております。ここ数年3月には大規模なBBQ大会を開き日本人はもとより、フィリピンの方々からも喜んでいただいております。



PRA日本人会南ルソン定例会

3. ゴルフは週1回カンルーバンゴルフクラブで行っています。

朝9時に家を出て30分ほどで着き、すぐにティーアップです。勿論メンバー及び同伴者は予約なしでOKです。OUT、IN、スループレイもよし、昼食をレストランでとってよし、自分のペースでゆったりとプレイをしています。こんな状態ですから上達は望めず、余りの下手さに、何時もついて居るキャディーさんたちも半ばあきれています。



カンルーバン ゴルフ倶楽部

参考費用：グリーンフィー 1,600ペソ
キャディーフィー 500ペソ
カート代(2人使用) 800ペソ

4. ローズプリンセス・ホーム(老人ホーム)についてお話しします。

日本人により開設され、20年近くの実績があります。現在は信頼のない日本人オーナーに代わり、フィリピン人のスタッフにより、運営されております。NHKなどネガティブキャンペーン(?)の放送により、運営停止になっているように思われている方もおられるようですが、十分に活動しております。現在ある方は3人の日本語のわかる介護士を8時間3交代で付け24時間の介護を受けて生活しております。費用は3人で1月30,000ペソです。またある方は年金が少なく、ひと月の居住費、(電気代、掃除、洗濯代その他)、食費を十分に払えないのですが、スタッフによると食材費や電気代のような実費は何とか賄えるので、そのまま居住を認めています。又今までに身寄りのない3名が亡くなりました。その遺骨は、ホーム発足時のフィリピン人メンバーの一人で、このヴィレッジの開発業者でもある彼が所有しているメモリアルパークに納骨してくれたと聞いております。彼は、何かと運営スタッフに援助もしてくれています。

日本ではできないこと、ありえないことが、いい意味でフィリピン人のおおらかさが、此処では十分に発揮されていると思います。

5. 学校教育について感じたことをお話しします。

我が家のヘルパー(メイド)はハイスクール2年で中退し、働き始めました。17歳の時に我が家に来、1年経過後「ハイスクールに行きたいか」と尋ねたら「ぜひ行きたい!」との答えでした。ハイスクール3年に復学し、4年生を経て今年3月に卒業いたしました。本人のたっでの希望により6月からは、公営の大学に行き始めています。期せずして学校

との係わりが持て、いろいろ知ることができました。一番驚くことは、予定通り進まない。先ず行事予定の知らせが、1、2日前は当たり前、卒業式の始まる時間が2時間近く遅れてスタート、授業時間に先生が遅れてくる、よく休むなどなど。フィリピンタイムと言われるように、時間にルーズなのは、学校からして改めないと到底無理だと感じています。

まとめとして、最近の在比日本人の関心事の一つは、円安問題です。3、4年前は、1万円で最高の5,500ペソでしたが、現在(2015年・6月)は3,600ペソです。その間に物価も20%ほど値が上がっているように感じます。為替問題と、物価上昇で合計50%程度、円の価値が下落しました。1万円が5千円になったような感じで、大きな問題です。長年フィリピンに住んでいた方が見切りをつけて、日本に戻られたと、ちらほら耳にするようになりました。しかし日本人にとってはまだ生活費は安いと思いますが、今までのように、唯、物価が安いというコストパフォーマンスを求めるだけでなく、気候、環境など、ライフ生活の利点を見極められることをお勧めします。私たちは、日本の冬の寒さを知らず、へ



自宅



自宅前にて会員の永田様ご夫婦と

ホテル 1,500から2500ペソ 4万ペソ/月極
ゴールデンピークホテル ダブルベッド 1,600ペソ、
ウォーターフロントセブ 2,300ペソ、マルコポーロ
2,200ペソ、クラウンリージェンシー 1,500ペソ

【食事】

セブ市には日本レストランが20店舗ぐらい。美味しいフィリピンレストランもたくさんあります。

【ダイビング】

日本と違いきれいな魚と白いビーチが迎えてくれます。

ダイビングのライセンスが有れば2ダイブ+昼飯2500ペソ。ライセンス取得コース3万円。

【ゴルフ】

アルタ ビスタ ゴルフコース

(セブ市内から車で30分)

タクシーで200ペソ(400円)程の距離

ビジター メンバー同伴の時 月2回まで 1,560ペソ(3,120円)、チップ 200ペソ(400円)、3回目からは3,800ペソ(7,600円)

1ヶ月 短期会員 入会金 12,800ペソ(25,600円)、プレー 費 600ペソ(1,200円)、キャディのチップ 200ペソ(400円)

【タクシー】

とても安く20分位乗っても100ペソ。空港タクシー(イエローキャブ)は特別料金で高くて私のコンドまで30分250ペソ。安全のため歩かないでタクシーを使って下さい。

【言葉】

子供からお年寄りまで英語を話してくれます。母国語ではないからアメリカ人の様に早くないし、オーストラリア人の様になまってないから英会話の勉強にはとても良いと思います。

私は車を持っていますが観光客は絶対に運転し

ないように。マナーと言う現地語は無いからマナーの良い運転はしてくれません。

免許証は日本の免許を書き換える方法で。

翻訳費用1050p LTO617p+100p(視力検査)合計1767peso。身分証明にはなりません。

セブは一年中暖かく、雨期でも一日中雨ではなくスコールです。私はセブカントリークラブに隣接したコンドの6階に住んでますが扇風機は使いますがクーラーは使ったことがありません。2年前に25年ぶりに最高気温を記録しましたが35度でした。カラッとしていて28度だともう涼しく24度で寒く感じます。一日中28から32度です。

ここ3年ほどで交通渋滞が激しく、土、日以外はドライブする気になれなく外出が憂鬱になり、晩ご飯は自炊していてLS先を変更か日本に帰ろうと思ってます。

(1ペソ=2.7円(2015-07)で換算)



ダバオでの生活記

関西支部 No.1473 名倉 孝

今回ダバオでの街の様子や生活について執筆を依頼されてさて何を書こうかと考えたとき、既に諸先輩が過去に詳しく書いておられるし2015年新年号(VOL.62)にもお二人の先達がその辺の事情は詳細に投稿をされておられるので書く材料がなく困っておりました。それで自分の心象風景でもどうだろうかと思い、重い筆を執ることにいたしました。

私はすでに3年間の間に短期間ではありますがそこそこの回数を過ごしているのので、今回のダバオ訪問は何の目的もなくただ突然やってきて、旅行者の気分を心の片隅に抱きながらも力を抜いて毎日を生活しております。

ゆっくりと過ごし、過ぎていくことを心掛けて生活していると以前とは違ってすごく快適なものになってきました。その快適さは何だろうと思うとき束縛されないことではないかなと思に至りました。最初は旅行者ですから観光名所や旧跡へあそこも行きたいここも見たい、ゴルフもしたいし名物料理はどんなものがあるのだろうかと思いが尽きませんでした。勿論それらを卒業したわけではありませんがそんな心の呪縛から逃れられたのではないかと今回は感じました。

長年こちらで生活をしておられる先輩たちにお話を聞いていると旅行者から生活者に近づいたのかなとも思いました。もっと言葉を変えて言えばすることをしてしまった後の心の安寧を得られたということでしょうか。

日本で生活していると長年暮らしているのので否応なく家族親族を含めたいろんな人たち知人友人達との付き合いや、知りたくもない情報したくない雑事が無数にあり対応しなければならぬのです。それらをほうりだしてしまおうと思えば私には以前から通っていたダバオがあったということになるのでしょうか。

「逃避」と云う言葉がぴったりとあてはまりま

した。

ただあまり何もしないのも何だと思ひ、JPVA(日本フィリピンボランティア協会)が主催されている山間僻地の小学校に医薬品を届ける「学校保健室活動」に同行させていただきました。この活動につきましてはダバオ在住の佐々木様が南国BBSに7月3日付けのダバオ便り53で詳しく書いておられます。

今回は5日間12校を訪問予定でしたが季節が雨季ということもあり道路がぬかるんで通行不能だったり車の故障があったりして10校にとどまりました。

最遠方は片道2時間半の道のりで四輪駆動車で山道に入るとガタゴトどころではない揺れを経験し話していると舌をかみそうな道をひたすら進んでいきます。

どの小学校でも児童がみんな明るく元気で無邪気でもとてもかわいく感じます。カメラを向けるとわらわらとすぐに寄って来て塊が出来てポーズをとります。いつも数名が参加していてあちこちでカメラを向けますから小さな塊がいくつもできます。授業中でも教室をのぞくと一斉にキラキラした目でこちらを見て笑ってくれます。

なぜにこの環境でこんな明るいのかなと普通に疑問を抱きましたが、彼らは所謂山岳民族の子供たちで貧困生活を送っているのですが、山を下りたことがなく自分たちが貧しいとか不幸だとか考えたことがないという説明を受けて納得しましたが、一方そんな見方をするあなたは思い上がりか云うか不遜ではないかとの指摘(?)もあって複雑な思いを抱きました。

日本の小学校には長い間ついでに行ったことはないの今どうなっているのか知らないのですが、こちらではすべての訪れた小学校で国旗が掲揚されホセ・リサール(1861~1896年 フィリピン建国の父 スペイン植民地からの独立革命で連座され処刑される)の胸像があり、教室には「QUALITY EDUCATION FOR ALL」の標語が見られました。また高学年になると英

語で授業を受けるので英語が話せるそうです。

日本でも英語教育はしきりに言われておりますが、今の小学6年生は塾などへ行かずとも英語が話せるのでしょうか。もっともこちらでは英語は第2の母国語(?)のようなもんだそうですが。

そして驚きました。ある小学校で昼食が済むと歯を磨くんです。違う学校ですが歯ブラシ入れが男女児色分けされて設置されておりキッチンと歯ブラシが人数分(多分)入っておりました。驚いたことそのことが、日本で生活してきて他国との文化の違いを認識していなくて、自分の考えがどこか違ってること(不遜と云う言葉が当てはまる)に気付き愕然としました。



小学校の歯ブラシ入れ



歯を磨く少女

ある小学校で経費の予算表(支給される額と使用した額と項目)が大きく壁に貼ってありましたが、支給金額は年間16,000ペソで日本円にすると約43,680円です。この小学校一校分1年間です。ひと月3,640円です。電気は来ているが電気代が払えないので使わない、水道はないので雨水をためて使う(今回雨の日があって子供たちが溜まった雨水をせっせせせと運んでおり

ました)、泥棒が窓ガラスを割って侵入しPCをとって行ったがお金がないので直せないし買えない。今回同行の篤志家がスリッパ(ゴムぞうり)や学用品を配っておられました。

そして車の故障ですが、路肩に動かなくなった車を止めて運転手さんが何かごそごそやり携帯で連絡を取って近所の民家を訪ねておられました。結論から言えば数時間後に車は動いて無事に帰り着くのですが、故障の原因を探りどの部品が悪くてその対処はどうしたらいいのかJPVAのメンバーさんたちの連携も見事でしたが、何よりも自分たち自身で解決するという姿勢は今の自分にはなくて目を見張りました。

悪い部品を外してガソリンを抜きポリタンに移し替え長いチューブを近所から手当てしてそれを繋ぎとの作業で大体の原因はわかった気がしましたが、当初は代車を頼んでそれで帰るのだろうぐらいの軽い気持ちでおりましたし、日本で私が出来るのはJAFを呼んでただ待つだけだったでしょう。

もっともこんな遠方まで代車が来るわけもないので、直さなければ帰れなかったのかもしれませんが。

町中でも車の故障はしばしば見かけますが当然JAFなるものはないのですから運転手自らが直している光景によく出会います。日常の家庭内のちょっとした修理(家具や屋根、電気製品等)は家族の誰かが手掛けておられるということを知り、街のあちこちに靴の修理屋があつて普段町中で履いているスリッパ(ゴムぞうりこちらでは靴より一般的に履かれる)の鼻緒が



コンビニ兼ガソリンスタンド

ステイを身近に感じ、サロン会での新鮮で楽しいスピーチに感動し、入会したのもこの頃です。

ロングステイの適地を探す

ルソンからミンダナオまで31都市

私がロングステイの適地とした条件は、5つあります。

- ①日本人の長期滞在が「安心・安全な地域」であること。
- ②手術可能な病院が、1時間以内の地域にあること。
- ③生鮮食品が価格を含め手に入りやすいこと。
- ④日本語の通じるメイドやサポーターが雇用できること。
- ⑤周辺住民の日本人への好感度が高いこと。

……以上を目安に自身の足で、フィリピン31都市を歩いて調べてきました。

特に⑤の条件を肌で知る意味で、私の宿泊先は3ツ星以下のホテルやペンション・民宿を優先しました。

時にはガイドをお願いしたスタッフの紹介による現地のアパートも積極的に利用しました。

それらの中で4箇所ほどの紹介と、私が感じたLSの楽しい体験をお伝えします。

ジプニーで行くタヤバス・ルセナ・ロード

ルセナとはメトロマニラのBuendia通りLRTの駅横のターミナルから、高速バスで約4時間弱、南にタヤバス湾に面した都市です。西に向かうとバタンガスやタガイタイ、東に向かうとナガやレガスピに向かう交通の要衝で、人口も30万近くの大都市です。

大きなモールや総合病院も3箇所以上有り、緊急時タヤバスやラックバンからも1時間で来ることが可能です。

ホテルも5ツ星の豪華ホテルから、4人部屋で1ベットを格安で提供する施設もあります。

不便さを感じることもない地方都市でのLSを考える方には、漁港にも近く新鮮な食材の並ぶ市場を見て歩くのも楽しいひと時です。



タヤバス・ルセナ・ロード



ルセナビーチに向かう3家族と

特にこの地の最大のイベントは、5月のルセナの守護聖人「聖フェルデナンド」の祝いです。

この時の「チャミ祭り」は、現地の人々だけでなく多くの観光客も一緒に食の祭典を楽しむことができます。

メイドやサポーターの人件費も、タヤバスや少しローカルの地域の方にお問い合わせすると、マニラやセブと比べ格安です。

初めての出会いで親友に熱い歓迎に感謝・感謝

タヤバスはルセナからジプニーで北へ30分程ですが、ここは土地の起伏も多く一部棚田も見られ、かなりローカル色豊かな地域です。

この街道はバナハウ山裾野の高原の町ラックバンに向かっています。

タヤバスでは、現地の女性と結婚しアパート経営とトライシクルの運転で生活している日本人のSさんと親しくなり、この地域でのLS情報を色々伺うことができました。

Sさんは公設市場やバランガイの多くの人達に知られていることもあり、私の問いかけに誰

もが気軽に応えてくれました。

ここでの私の宿泊は、街道沿いのパライソと言う名のリゾート施設で3泊4日の滞在です。

1万平方メートル近い広大な斜面に、大・小のバンガロー風ハウスが宿泊用に供され、複数のプールや野外パーティー用のテーブル調理台セットも配置された施設です。



パライソのリゾート施設

昼間のLS調査の疲れもあり、早めの夕食を終えてウトウトし始めた頃です。

窓の外からパチパチと木の弾ける音と共に赤い明かりが、部屋に差し込むのに驚いて外を見ました。

すると休日の前夜だったせいか、幾つものグループがバーベキューやキャンプファイヤーの薪を燃やし始めたところでした。

その様子をしばらく窓から眺めていると、窓の下まで近づいてきた数人が「日本人ネー」と声を掛けてきたのですが、私の返事を聞く間もなく私の手を引いて仲間の輪に…。

何本か目のサンミゲルビールを手にしたとき初めて数人のリーダー(40代)に引率された男女学生グループであることに気づきました。

歌を求められ「与作」を歌うと2番3番では全員が「トントントン…ヘイヘイホー」を合唱する姿に、私の胸に熱いものがこみ上げるのを感じました。

こうした感動は、韓国・カンボジア・ベトナム行脚では体験したことはありません。

翌日、周辺の散策に施設前の通りを歩き始めた時「もし、もーし!」との呼び声に振り向くと、

若い女性が笑顔で手招きしています。

「えっ!私?」と思わず応じ、その娘さんが指差す方向を見ると、なんと敷地内に竹で作った高さ5m程の物見台があり、その上から満面に笑みを浮かべたご婦人がその場にかかるようとお誘いでした。その場には60代のバランガイ議長も一緒に、ティパーティーを楽しんでおられました。

私が招かれた理由は、昨夜の野外宴会の楽しそうな雰囲気を感じてのことか、今夜はバランガイのメンバーと宴会をとのお誘いです。

また、この地の人々は皆とても親切なので是非ロングステイをするようにとのお勧めです。

住む家からメードまで全て手配するとの申し出に、十分感謝の意を伝えて再開を約束し次の調査地であるラックバンに向かいました。

歴史と伝統が薫る街 街路灯が美しく夜を演出 Lucban =ラックバン

この町は街路が整備され初めての訪問客にも独り歩きが可能で、迷子にならずに自由な散策が楽しめます。

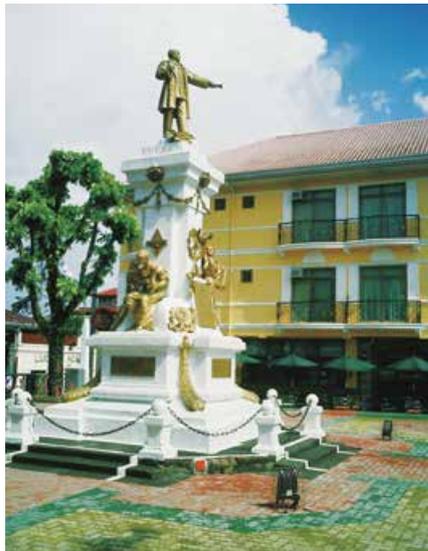
またフィリピンに多い野犬の糞やゴミなどが散らかっていることもなく、住民のマナーの良さを感じさせてくれます。

街の中心部にある公園を囲むように、コンパクトなホテルと役場そして数百年の歴史が刻まれた風情の教会、どれもが街の背丈に見合った感じで旅の緊張感をほぐしてくれます。

モダンな街路灯も、一つとして不具合なまま放置されたものがないことも、行政の生真面目さが感じられ、心強い思いがしました。

特に町の祭日で、街路に面した家々が屋根や二階から路面近くまでの見事な飾り付けは、観光客はもちろん住む人々の心にも賑わいを与えてくれます。

ネグロス島のドマゲッティ市はフィリピンの美しい街として評価が高いですが、ラックバンの街も規模は小さいですが清潔感にあふれた高原の街と言えらると思います。



ラックバンのHTL

ビーチの景観が世界ランクの島 南北7°東西2°のボラカイ

ボラカイ島は、フィリピン人だけでなく世界中から観光客が集まるビサヤ諸島にある小島です。島の西側中央の4キロは、粒が驚くほど細かい白砂の浜辺が続くことで有名で、高級ホテルを含めレストラン・バーなど様々な娯楽施設が充実しており、特に夜のビーチ散歩は、生ライブや新鮮な魚介類のBBQなど、ゴージャスなムードが溢れています。

また、診療所やネット環境・加えて警備体制等も整っております。

しかし有名な観光地ですから、宿泊費は当然として多くの生活必需品も島外からの手配ゆえ諸物価は全て割高です。

そこでホテルは初日だけ予約し、その後の宿泊はプロモーション価格(訳あり特別割引)を表示してあるホテルを現地調達した方が、かなり安く泊まれます。

LS適地の可能性も!?

このような人気度の高い観光地でのLSは到底、経済的に無理なだけでなく静かな環境は得られないと考えられますが、実はそうでもないのです。

ボートステーションから島の北東側にトライシクルで10分ほどで、そこは賑やかなホワイト・

サンド・ビーチとは正反対の、森の木々に囲まれた静寂なエリアです。

このエリアにはフィリピン海軍の保養所があり、漁に出る地元の漁船の船着場もあります。

つまり治安面を含め、LSの適地としての条件を、かなり満たしているように思います。

事実このエリアに日本人オーナーの手で企画した、長期滞在者向けのビレッジのモデルハウスに体験入居された方もおられます。



島の北東側にあるLS入居者の家

進化するボホール観光

LSの候補地として熱いパングラオ

ボホールには私自身が観光だけでなくLSの候補地として何度も足を運ぶうち、多くの現地の方と親しくなることができました。

その人脈を活用して、ボホール・パングラオ両島だけでも7箇所以上の候補地を銀行を交えて具体的に検討してきました。

特にパングラオ島には、既に多くの欧米人がLS目的で居住していて、ビーチ沿いの良好な土地は個人での入手が難しい状況です。

しかし視点を変えて、5~6年程度のLS生活を楽しむための住居であれば、既存のレントハウスで十分です。またその方が面倒な問題等起こる可能性が低くなります。

ボホール観光で「昔多くて今少ない」のは、世界最小のメガネザル・ターシャです。「では多くなったのは?」これは充実した観光資源です。

10年前はメガネザルのターシャを、観光客の両腕・頭・肩などに10匹以上も載せて写真撮影

したものです。また動く姿もよく目にしましたが、今ではほとんど昼間は動きません。

一方、現在フィバーしてるのがロボック川の船上から見る兩岸の緑豊かな景色です。

加えて船上でのバイキング料理と生演奏です。

また川岸に係留した筏の上で、地元の子供達による演奏やバンブーダンスの披露、観光客も誘ってのダンスなど、以前にはない演出でカメラのフラッシュが絶えません。

世界遺産であるチョコレートヒルの雄大で不思議な景観に勝る感動には及びませんが、どれも訪れた多くの観光客の心を満たしてくれます。

この地も、フィリピンの魅力を発信するエリアですので、是非一度は訪れてみてほしいです。



ボホール パングラオのビーチ

フィリピンお役立て情報

会報部会編

【基本情報】

I 豊かな大自然と素朴で温かな人々の笑顔、物価の安さと日本からマニラ迄約4時間、時差も1時間のフィリピンは日本から年間約40万人もの人が訪れ移住者、ロングステイヤーの憧れの国でもあります。

人口は約9,860万人(2013年国連続計)、国土の面積は日本の8割程の7,107の島から成り立っており其の島の数だけ伝統や文化も多彩です。

87もの言語が話されておりタガログ語を基礎とするピリピノ語(フィリピン語)を公用語に定めています。英語も小学生から教えられており公用語として広く使われておりアメリカ、英国に次いで世界3番目に英語を話す人が多い国でもあります。

II フィリピンの国際線

①フィリピン航空、日本航空、全日空、セブパシフィック航空、デルタ航空、ジェットスターの6社がマニラ迄の直行便を運航。セブへの直行便はフィリピン航空のみ。

②出国税

マニラから国際線でフィリピン国外へご出発される方が支払う国際線施設使用料(IPSC)について。

【2015年2月1日以降に発券された航空券をお持ちの場合】

航空券のお支払い時に、IPSC(550フィリピン・ペソ)が航空券面額に含まれています。なお、航空券面には、TAXコード“LI”として徴収済みであることが記載されています。※発券時の換算レート(IATA公示レート:BSR)を適用し、お支払い通貨に換算しています。

マニラをご出発される際には、空港のIPSCお支払いカウンターに並ぶ必要はありませんので、チェックイン手続き後はそのまま出国手続き・保安検査にお進みください。IPSCが航空券面額に含まれているかどうかご不明な場合は、フィリピン航空または航空券をお求めいただいた旅行会社までお問い合わせください。

III 南の会では現在、マニラ、セブ、ダバオ、バギオ・パンガシナンに支部がありますがボラカイ島ボホール島、サマル島、イロイロ等LS候補地として興味がそそられる地域が沢山あります。

【査証(ビザ)】

I 30日以内の滞在ならビザは必要なし。但しパスポートが滞在日数+6カ月以上の残存期間と帰りの航空券を持っている事が必要(この残存期間の条項はフィリピン司法省により撤廃された模様です)。

II 日本で取得出来るビザ

観光ビザ

31日以上滞りを希望する場合は59日間有効の観光ビザを日本で取得できる(申請料5,250円)。現地での滞在延長手続きも可能。

III フィリピン国内での取得ビザ

特別居住退職者ビザ(SRRV)

フィリピン共和国出入国管理局の発行で外国人等を対象にした退職生活者プログラムで数次入国特権と永久無期限にフィリピンに住む権利が与えられる。

このビザには幾つかの選択肢があるが二つ例に挙げると

(SRRVクラシック)

必要な預金 50歳以上20,000 \$ (年金なし)、10,000 \$ (年金あり、年金額を示す証書提出)

預金は投資への転換が出来る。申請時に1,400 \$ の申請料と年会費360 \$ を支払いその後毎年Visitorial Fee (会費)として支払う。

(SRRVスマイル)

必要な預金 35歳以上一律20,000 \$

銀行預金として保持され投資に転換出来ない。申請料、会費等の条件はクラシックと同じ。

種類によって条件も提出書類も違うので詳しい事はフィリピン大使館に問い合わせの事。

・ビザの申請、問い合わせは

在日フィリピン共和国大使館

東京都港区六本木5-15-5

電話 (03) 5562-1600

在大阪・神戸フィリピン共和国総領事館

大阪市中央区城見2-1-61

Twin21 MIDタワー24階

電話 (06) 6910-7881

【マニラ】

I 概要

フィリピンの首都。正式名称は「メトロマニラ」。マニラ市を始め17の行政地域の集合体。人口約1,155万人。

観光は勿論ゴルフ、ダイビング、ショッピング等様々なエンターテイメントが集約されている。

経済発展の真ただ中にある活気とマニラ湾に沈む夕日が美しい。

<ヒソンド地区>

市場のあるディビソリアと並んで活気ある地域で高層マンションやオフィスが立ち並んでいる。同地域は市によりビジネス・プロセス・アウトソーシング(BPO)のハブとなるよう計画が進められており既に30の施設がBPOオフィスに更新されている。

<マカテイ地区>

アジアショッピングの超穴場、ショッピング天国のマカテイ。

フィリピン大財閥のアヤラー族によって開発されたエリアで高層ビルが並ぶ近代的な街。沢山のショッピングスポットがありモールやデパートを梯子して一日楽しめる。

物価の安さと品揃えが豊富な魅力のマカテイ。お奨めはアメリカブランドの「コーチ」「ナインウエスト」は日本で買うより断然お得。「プーマ」や「ナイキ」も日本の半値以下で買える。

お手軽なお土産としてお奨めするのが「ドライマンゴ」。日本で500円以上する物がスーパーで100円程度。まとめ買のお土産に最適です。

II 住宅、ホテル事情

ホテルはフィリピン政府観光省に登録され、クラス分けされており目安としてファーストクラス \$ 120～、スタンダード \$ 80～、エコノミー \$ 50～。

観光重視ならマニラ湾に面したりサール公

園やイントラムロスに近いベイエリア、ショッピングを思い切り楽しみたいならマカティ地区が便利。

日本人ビジネス居住者はマカティに多く住んでおりLSステイアールはマカティ、アラバン、サンタロッザ辺りに比較的住んで居るようだ。

Ⅲ ゴルフ事情

フィリピンのゴルフ場は日本程の混雑はなく、スタートはほぼ希望通り。グリーンフィは大よそ3,500~5,000ペソ、キャデイフィは400~500と日本と比べると割安で楽しむ事が出来る。

マニラ周辺にはおよそ70のゴルフコースがあるが以下に代表的なゴルフ場をあげると

①Valley CCC

マニラ市内から約1時間のアンテイポーロにある36Hの林間コース。
観光客にも解放している。

②Villamor GC

マカティから20分程、パサイ市の空軍基地内の18Hの平坦コース。
観光客にも解放している。

③Clab Intramuros GC

マニラ市の中心部イントラムロスにあるショートコースと短いミドル中心18H。
ナイター設備もあり観光客に解放。

④Capital Hills、GCC

マニラ市から約50分ケソン市郊外のやや丘陵コース18H。
観光客に解放。
其の他多数あり。

Ⅳ 医療事情

緊急の場合117番で救急車を呼ぶか直接病院に電話をする。

以下に代表的な病院をあげると

①マニラ日本人会診療所

(JAPANESE ASSOCIATION, MANILA)
内科、小児科、婦人科 健康保険は一旦全額負担となり日本で還付請求

住 所 23F Trident Tower, 312Sen, Gil Puyat Ave SalCedo Villege, Makati

電 話 02-818-0880

ジャパニーズヘルプデスク直通 02-50-7986

②マカティ メデカルセンター

(Makati Medical Center)

総合病院 予約不可

住 所 No.2 AmorSolo St, LegaSpi Villege, Makati

電 話 02-815-9911

ジャパニーズヘルプデスク直通 02-623-1054

③東京ヘルスクリニック

(TOKYO HEALTH CLINIC)

予約優先 日本語対応可能女医在籍

住 所 Sanny Vale Building (Kodak Building) #2247 Don Chino Roces Ave, Makati

電 話 02-819-2010

ジャパニーズヘルプデスク 02-506-8989

【セブ】

I 概要

メトロセブはマニラに続く第二の都市。セブ市は其の中心地「Queen Of The South」の愛称で親しまれているフィリピン最古の街でもある。

セブ市のあるセブ島はサンゴ礁に囲まれた世界有数のダイビングスポットがありスキューバダイビングやウィンドサーフィン等のマリンスポーツが楽しめる。

島内にはゴルフ場や本格的なスパ、エステサロン、カジノ、レストラン等のスポットも充実している。

セブ市は南に海、北に山があり大きく分けて植民地時代以来の古い下町である海沿いの地区と大戦後丘陵地の上に拡大した近代的な山の手地区に分かれている。 coron通りより南の下町には昔ながらの大きな市場カルボンマーケットがある他サント・ニーニョ教会、セブ大聖堂、市役所等が集中する。

下町から北へオスメーニャ通りを進んだ先

にあるオスメーニャサークルが山の手の中心で博物館や大きなショッピングモールや邸宅が並ぶ。

リゾートホテルはセブ市の山の手やマクダン島の南東海岸に多数ある。

II 住居事情

セブの住宅事情について

メトロセブはセブ市と近隣のマンダウエー市とタリサイ市、ラブラブ市からなり、会員は主に大型ショッピングセンターアヤラモールとSMモール近くのコンドを購入するか賃貸で住んで居る。

マンダウエー、タリサイ、ラブラブ市ではサブデビジョンと呼ばれる一戸建てに住む様だ。

コンドはピンからキリまであり、賃貸1DK 25㎡ 1万ペソ(約2.7万円)の中古物件トリニテイから新しいものが続々建っているが、同じ面積でも3.5万ペソ(9.45万円)以上が普通であり、昨今の円安で住みづらくなってきているようだ。

最近日系の不動産屋が進出してきたが1年以上の契約が殆どです。

シーズンステイですと、投資用に購入された分譲コンドミニウムが賃貸に出されています。数日間ホテルに泊まって其の間に探す事になります。

III ゴルフ事情

①CEBU C.C

セブ市内から約20分、18Hの平坦コース。観光客にも解放しているが60日以前は予約不可。

②CLUB FILIPINO DE CEBU

市内から1時間程のセブ市北部のダナオ市にある山間の丘陵コース 18H。観光客に解放しているが事前支払が必要。

③ALTA VISTA G&CC

市内から南へ30分、18Hのアップダウンのコース。観光客にも解放しているが予約は出来ない。空いていればプレイ可能。

IV 医療事情

①セブ ドクターズ病院

(CEBU DOCTORS HOSPITAL)

総合病院 24時間緊急対応

日本語対応可能

住所 OSMENA BLVD, CAPITAL SITE, CEBU CITY

電話 032-255-5555

ジャパニーズヘルプデスク直通 032-516-3341

②チョンワ病院

(CHONG HUA HOSPITAL)

総合病院 日本語対応可能

住所 FUENTE OSMENA, CEBU CITY

電話 032-255-8000

ジャパニーズヘルプデスク 032-381-6057

【ダバオ】

I 概要

フィリピン南部、ミンダナオ島にあり人口約140万人を抱えるフィリピン第3の都市。

ビーチリゾートサマル島にダイビング、カジノ、ゴルフ場等多彩な魅力を持ち合わせている。この都市の発展のきっかけは20C初頭の日本人によるアバカ(マニラ麻)栽培の農園経営にあると言われ、当時2万人の日本人が住む東南アジア最大の日本人街があった。

現在でも多くの日系人が住み定年を迎えた日本人の移住先LS先として注目されている。

繁華街、行政、商業の中心地はダバオ川の北に集中している。

東西に走るサン・ペドロ通りと南北に走るレクト・アベニューがあり周囲にホテルや市場ショッピングモールが広がっている。

国連の安全地域調査でも世界20位に入る安全で穏やかな地域である。

II 住居、ホテル事情

日本人が多く住んでいる地域はラン地区です。ランドマークはミンダナオ国際大学、JPVA(日本フィリピンボランティア協会)です。和食レストラン、SM初め大小のスーパー日本食材店もある便利な地区です。殆ど一年

契約です。家賃は2ベッドルーム、キッチンリビングでP30000～。

チョット地域を外すとP30000～でプール、フィットネスルームが付いたコンドも有ります。

ダバオ川を超えると家賃はかなり安くなります。ゴルフ中心のLS滞在の方にはお勧めです。

築年数、地域に拘らなければ、スタジオタイプP9000位からあるようです。何れにしても不動産屋が有りませんので、1週間位、ホテルやペンションに宿泊して探すのが良いでしょう。

ホテルは最近増えています。地域、料金で選べます。1～2か月の滞在でしたら、会員が良く利用するペンションタイプのCASA MARIA[和朝食、wifi ケーブルTV 洗濯付き]、JJ NARS[コンチネンタル朝食、wifi ケーブルTV]、サービスアパートさくらハウス(ツノダハウス)自炊完備、wifi ケーブルTVなどがあります。

Ⅲ ゴルフ事情

①RANCHO PALOS VERDES

ダバオ市内から20分程の18H。360度景観の素晴らしいコースで観光客に解放。

②APO GCC

ダバオ市内から30分、アポ山麓のミンダナオきってのチャンピオンシップコース。18Hで観光客に解放。

③ダバオ シテイーゴルフ

市内SMシテイ近くの9Hゴルフ場。

Ⅳ 医療事情

①ダバオ ドクターズ ホスピタル
(DAVAO DOCTORS HOSPITAL)
ジャパニーズ ヘルプデスク併設
電話 082-324-0217

②日系人会ポリクリニック
他幾つかの大きな医療施設あり

【バギオ】

I 概要

マニラの北約250キロ、コルディレラ山脈

にある標高1,500Mにある高原都市。

この為年間平均気温は20度前後と非常に過ごし易く以前は3月から5月にかけて大統領府等の政府機関が移転する事から「サマーキャピタル」とも呼ばれていた事もありました。

年間を通じて鮮やかな花が咲き、バギオ野菜と呼ばれる高原野菜やこの土地ならではの果物が豊富。2月中旬に行われるフラワーフェスティバルや降水量が1年で最も少ない3月は観光のベストシーズンである。

フィリピン人の行きたい旅先No.1にも選ばれている。

Ⅱ アクセツ

マニラ近郊のパサイ市又はケソン市のクバオから長距離バスで6～8時間程。料金は片道P440程で毎時1本程度の割合で運行している。又空港から直通バスの便もある。

Ⅲ 観光

バギオには大聖堂や女子修道院を始め豊富な観光名所が多数あり郊外には滝等の自然の景観と幾つもの温泉があり心を癒してくれる。

又バギオは人口30万人程の中小都市であるが6つの総合大学、医科専門大学、士官学校その他10余の各種大学があるフィリピンの代表的な教育都市でもあります。

Ⅳ 住居事情

バギオには元会員の方を含め日本人の定住派の方が結構住んでおり又アジア人向け英語学校が10校以上あり生徒は韓国人に次いで日本人も多く街で日本人に出くわす事も少なくない。

以上の情報はフィリピン政府観光省発行の資料等と現地にステイしている南の会の会員のアドバイスを参考に作成したものであります。

ご協力を頂きました方々に御礼を申しあげますと共に使用の際はご自身で確認の上お使い下さるようお願い致します。

支 部 便 り

北海道支部便り

支部長 No.1285 桂 裕章

1) 平成27年北海道支部総会及び第1回情報交換会

- (1)日 時 平成27年 6月13日(土)
- (2)場 所 札幌市中央区北2条西7丁目
かでの2・7

(3)参加者 34名

(4)議 事

- ア)支部長会議の報告
- イ)会計報告
- ウ)会計監査報告
- エ)役員改選

支部役員は下記のとおりです。

- 支 部 長 No.1285 桂 裕章
- 副支部長 No.742 池田 邦彦(新任)
- 総 務 No.358 松村 久一
- 会 計 No.582 大塚 政明(新任)
- 幹 事 No.245 佐藤真理子(HP担当)
- 相 談 役 No.625 工藤 俊一
- 相 談 役 No.861 大平 盛雄

オ)新入会員紹介

カ)情報交換

- ・「北海道支部ML」の活用法について
No.625 工藤 俊一
- ・チェンマイ体験記
No.1715 金井 修二
- ・「北海道新聞ロングステイ」投稿記事状況(3月～6月分)
 - 3月16日 ネパール(戸口愛子)
 - 3月30日 ダバオ(桂 裕章)
 - 4月13日 チェンマイ(戸口愛子)
 - 4月27日 クアラルンプール(当麻庄司)
 - 5月18日 チェンマイ(工藤俊一)
 - 6月1日 バンクーバー(桜庭発子)
 - 6月15日 ニュージーランド・ハミルトン①(桂 裕章)

6月29日 ニュージーランド・ハミルトン②(桂 裕章)

・なお、7月以降も投稿は継続の予定です。

(5)懇親会

16:30～「そら」
札幌市中央区北5条西5丁目 JR55ビル
参加者34人

(6)次回北海道支部予定

・第2回北海道支部サロン会

日 時:10月3日(土)、13:15～16:00
場 所:札幌市中央区北2条西7丁目
かでの2・7



東北支部便り

支部長 No.498 氏家 孝

○27年度第1回東北支部総会、情報交換会
27年4月19日(日曜日)

宮城県松島 ホテル壮観

・総会及び情報交換会 午後4:00～5:30

・懇親会 午後6:00～9:00

・参加者6名

- ①氏家 孝(498) ②小松 実(1356) ③舟田 照夫(1666)
- ④⑤木村俊一ご夫妻(1705)
- ⑥佐藤 周司(1027)

決定事項及び参加者の情報概要!!

1. 役員改選決定

支 部 長 氏家 孝(再任)
副支部長 小松 実(ッ)

会 計 舟田 照夫(再任)
事 務 佐藤 周司(々)

- 情報交換会年2回の実施
- 会場選びは交代制にして行う。

4月、9月に実施。

次回は9月27日(日)に決定。場所は福島
の某所?選定中。

2. 情報交換会

- ①資料4枚、各自に配布。国内外旅行トラブル対応。おためし移住等の案内。役立つ資料なので今後の旅に使いたい。

氏家 孝

- ②趣味で週2回のダンス教室通い、農作業、旅行、何事にも積極的に立ち向かい充実した日々を過ごしている頼もしい人(うらやましい)。

小松 実

- ③香港ハイキング4日間の旅の様様をスライド映像にして説明。珍しい映像でしたが、日本の山の方が奇麗!

佐藤 周司

- ④近い将来海外ロングステイ希望。候補地探しの為、いろいろな旅を経験して気候、費用、食べ物(香辛料)等比較して、候補地を決めたいとの事。仲の良い、行動派のご夫婦でした!

木村 俊一ご夫妻

- ⑤インターネット(無料アプリ)からダウンロードして活用方法。

音声入力と英語表示させるスマホ等の説明。自分でも出来るようになりたいものと感じたし、教えて欲しい。

舟田 照夫

今回の集まりは組織作りと作業の分担、会の目的の明確化を主議題として5時間の話し合いになりましたが、一定の成果は出たと感じました。次回も宜しくお願い致します。

事務局 佐藤 周司

関東甲信越支部便り

支部長 No.1118 肥後 憲尚

関東甲信越支部の活動を紹介します。

○4月サロン会

サロン会 参加者52名

司会進行役 平澤 信さん

テーマ

- ①「私のチェンマイ滞在記」 西野 裕之さん
チェンマイで旅をされた時の様子、英語のレッスン、マッサージ養成所に通われた時のお話等お話しいただきました。

- ②「タイ人から見たチェンマイ」

タイ人留学生 トゥーンさん

チェンマイ近郊観光、日本留学で感じた事等お話し下さいました。

第2部 グループ別 フリートーキング

テーマ「心に残った旅の思い出」

どのグループも活発な意見 交換が有りました。

第3部

懇親会43名参加

何時もの会場「ロウジ」で盛り上がりました。

○5月サロン会

サロン会 参加者78名

司会進行役 槇野 昭一

第1部

関東甲信越支部総会

簡単な前期の活動報告、会計報告等が肥後支部長より有りました。

第2部

テーマ「ロングステイに役立つパソコン、タブレット講座」

関東甲信越支部 パソコン講師

No. 60 渡辺 義郎さん

旅先でパソコンから日本のテレビを観る方法等 幅広い海外パソコン活用術をお話頂きました。

第3部

グループ別 フリートーキング

テーマ「サロン会に対する 要望」

7グループに分かれ 全員から良い意見、要望等活発な発言が有りました。

第4部

懇親会 48名参加

6月のサロン会は行わず、「この指とまれ 築地散策」を開催しました。

(リーダー 鈴木 元恵さん)

参加者35名、小グループに分かれ場内、場外を回り、各自お買物をして寿司屋で昼食をいただき、解散しました。その後新橋で12人の方々とお酒を飲みながら懇親を深めました。

築地は近年豊洲に移転の為か、観光客(外人も含む)で溢れ返っていました。

東海支部便り

支部長 No.1544 森 幸太郎

緑が濃くなり、やがて夏を迎えるころになると南の国から帰り、北の国に出かける前で、定例会も賑わいます。

3月には東海支部から約20名の方が台中の「振英會館」に、短い人で1週間、長い人で1ヶ月間滞在しました。他支部から来られた人もいて、にぎやかで楽しい滞在中、朝の自彊術、初心者麻雀教室や茶話会、八田與一物語の「バッテンライ」や甲子園で活躍した嘉義農林高校野球部物語の「カノウ」などの映写会、ゴ

ルフ、日光温泉や燈会などの市内観光、ショッピング、春水亭や無為草堂での食事会、台北や高雄など近郊都市の見学や泥パック温泉など思い思いに楽しみました。



茶話会を楽しむ



楽しい食事会



高島さんの指導で、毎朝「自彊術」で体調を整える



映画鑑賞前のひと時



台中公園で開かれた燈会



台中でゴルフを楽しむ

4月12日(日)「ウイル愛知」で東海支部総会が開かれ、新支部長の森幸太郎以下の新体制がスタートしました。ついで定例会が開かれ、タイ、マレーシア、台湾など海外ロングステイ経験談や、5月から10月にかけて出かけるタイ・チェンマイのロングステイ、タイ・バンコク→プーケット→チェンマイの旅、サイパン、グアム、ハワイ、アメリカ・ラピッドシティ→バッファロー→ナイアガラの2,500km車旅、ヨーロッパ・ライン川下り、ヨーロッパ・スペイン→イタリアのクルージングの旅、イギリス滞在中の家族訪問の旅、北海道ロングステイ(根室や秩父別など)、久高島や石垣島など沖縄ロングステイ、九州一周の旅計画など、楽しい話で盛り上がりました。クアラルンプールにマンションをお持ちの鈴木さんからマレーシアの魅力をたっぷり伺いました。

さらに川地さんを講師としてタブレット教室が開かれ、メーリングリストやLINEの設定方法や使い方など日ごろ疑問に思っていることや、パソコンの不具合などわからないことなど学び、今後も継続してタブレット教室を開催する事になりました。

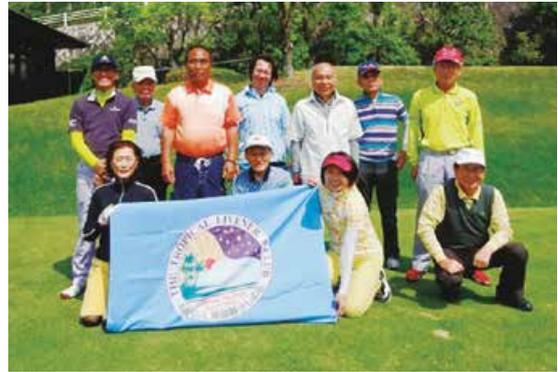
5月10日(日)には、アメリカ・マイアミの「シニアビレッジ」に滞在していた井本さんと、中国・桂林でマンションを所有しロングステイしていた藤井さんをオブザーバーに迎えにぎやかに定例会が開かれました。

さらに加藤さんからはiPadとプロジェクターを使ってチェンマイや英国ドライブの報告、野田さんからもiPadとプロジェクターを使って動



画でバリ島でのダイビングの報告がありました。最後に川地さんのタブレット教室を開き、定例会終了後に「太閤本店」で懇親会を開きました。

また、5月11日(月)には恒例の春季「南の会マスターズ」が豊田CCで開かれ、懇親を深めました。



5月18日(月)には「平日サロン会」が開かれ、半田、西尾、瀬戸、多治見など名古屋近郊の面々が13名集まって、中華バイキングを食べながら、楽しく歓談しました。これからチェンマイやマレーシアに行く人から旅の情報が紹介され、南国暮らしの夢を語りあいました。

また、話題が健康寿命の話になり、各自がいかに健康に気を使っているか紹介されました。

6月14日(日)の定例会では、高島さんからロンドン滞在を含めてヨーロッパ3週間の旅(うち13日間は地中海クルーズ)の旅先での出来事(良い事、悪い事)など盛りだくさんの報告がありました。

小林さんからは米ドル、ユーロ、台湾ドル、タイバツなどを例にとり、日本で両替した場合、現地で両替した場合、クレジットカードを使った場合、カードでキャッシングした場合などのメリット・デメリットの紹介がありました。最後に川地さんのタブレット教室があり、定例会終了後「太閤本店」で懇親会を開いて定例会で話しきれなかった話など、さらに詳しい情報交換をしました。

関西支部便り

支部長 No.173 平山 三雄

関西支部の主要な活動をご紹介します。

○4月例会(情報交換会)の開催

- ・「九州支部との支部交流会」 有元さん
 - ・「下見LSとゼブ島・KL・ダバオ」 佐々木さん
 - ・「ちょこっと英会話」 徳永さん
- それぞれの方から参考になる情報をいただきました(参加者56名)。

「懇親会」いつもながらの酒蔵「呑」で賑やかに過ごしました。



関西支部の方々

○6月総会(情報交換会)の開催

「平成26年度支部活動・会計報告
27年度支部活動計画・新役員体制」
各議案の承認を頂きました。

○例会

- ・「チェンマイシティについて」 坂平さん
 - ・「ハワイの最新事情」 大黒さん
 - ・「情報交換会」
- チェンマイ、ハワイ、シムフリースマホの



懇親会

三組に分かれ情報交換会を行いました(参加者42名)。

17時から「呑」に場所を移して懇親会を開催し大いに盛り上がりました。

○ゴルフ同好会の開催

平成27年5月18日(月)ライオンズCCにて10名の参加を得て、久しぶりに同好会が開催されました。秋には一泊二日の同好会が募られました。



少し曇り気味でした

○パソコン教室の開催

5月28日パソコン教室を開催。

出席者のリクエストで「写真をいかにワードに貼るか? メールに添付すればよいか?」について講師より説明を受けました。

次にスマホやタブレットからBluetooth機能をつかい、Bluetooth対応のスピーカーとのペアリングを体験しました。

九州支部便り

支部長 No.581 朝永 清寿

○熊本サロン会

平成27年4月5日(日)、熊本市市民活動支援センター「あいぼーと」において熊本サロン会を開催しました。

参加者23名(ゲスト4名)。

今回は皆さんからの希望で翌日にゴルフを予定し、ほとんどの方が熊本で一泊。さくらの花見には少し時期が過ぎていましたので、情報交換会、懇親会後の二次会はカラオケで過ごしました。



・体験発表

(1) ニュージーランドを旅して

651 穴見 保彦さん

(2) チェンマイ最新事情

1476 野田 文蔵さん

(3) 台中視察振英会館

1602 片田 勉さん

・講演

改正相続法と相続対策

1709 村山 壽人さん



情報交換会終了後はいつもの「ひゃくしょう茶屋」で懇親会。20名の参加で盛り上がりました。二次会はカラオケ、14名参加。カラオケの先生・瀬崎さんがCDデビューをされるということで、みんなで応援しようと決起集会みたいな様相になりました。

・翌日のゴルフ

20名というビッグ参加で大いに楽しみにしていたにもかかわらず、予報から雨。

一縷の望みをかけて小雨の中を皆さん集合して、まあ何とかスタート時は傘もいらない曇空になりましたが、途中から降ったり止んだり、ぬかるんだグリーンを我慢しながら進みました。

遠く北九州からも初めて参加されたのに、とっても残念でした。この次に期待したいものです。



○九州支部定期総会、情報交換会及びパソコン勉強会

平成27年6月2日(火) 10:00~16:00

福岡市 NPOボランティアセンター「あすみん」 参加者14名



・パソコン勉強会 10:00~12:00

・総会 13:30~14:15



議長の村山さん

・体験発表 14:30~16:25

「バンコクからラオス(ビエンチャン)へのバス旅行」

1374 植田 良美さん



発表者の植田さん

・意見交換 「九州支部の課題」

九州支部では27年度の継続会員が22名も減少しました。支部長より支部活動のあり方に改善点はないかとの問いかけがあり、出席者で忌憚のない意見交換をしました。

・懇親会 17:00~19:00

会場 「手仕事屋ちゃぶだい」

初めてのお店。

飲み食べ放題で1,980円と超格安店をホットペッパーで見つけ、半信半疑で利用してみました。が今までの店と全く遜色がなく、ワインも当然飲み放題、ソフトクリームは自分で好きなだけと、大満足でした。



ハワイ支部便り

支部長 No.1016 村林 修次

6月のハワイを楽しむ

ALOHA

昔から「常夏の国ハワイ」と言われていますが、私は一年通してこの6月が一番良い時期かと感じています。

天候は安定し快晴が続き、風は爽やかで汗を掻く事も無く快適です。

景観も素晴らしい時期でブルメリア・ハイビスカス・ブーゲンビリヤは勿論ですが、レインボウ・ゴールデンシャワーが満開になり目も楽しませてくれます。

又、この6月のワイキキでは各種のイベントも集中して「カメハメハセレブレーション(ハワイ州の休日)」「祭りINハワイ」や「キングカメハメハ フラコンテスト」更に今年は「ライオンズクラブ世界会議」もあり、毎週末カラカウ通りはパレードが続きそれは大変賑わいました。

そして我が「南国暮らしの会」の会員さんも毎年この時期に大勢お見えになり、1年で一番楽しい6月になります。

「バニアン会」と協賛して、ゴルフは定例会を毎週2回計8回にコンペ1回を加えて9回も開催しました。

月初めには「Welcome Party」(Pot Luck)を開催し、18日には「南国暮らしの会」15周年記念行事ではゴルフコンペ、サロン会を。そして皆さんが帰国される直前の27日に「Farewell Party」(B・B・Q)を有料にも係わらず50名を超える参加者があり、ウクレレ演奏やフラダンスなどの演奏・演技で大変盛り上がったPartyに



なりました。

ハワイ支部としては1年間の活動がこの6月に凝縮された充実した1ヶ月間でした。

MAHALO ハワイ支部 村林修次

チェンマイ支部便り

支部長 No.239 伊藤 寛

2015年度チェンマイ支部役員と年間活動計画が決まりましたのでご報告させていただきます。

2014年から始まった新体制で任期2年目になります。諸事情により多少の変更はありますが、今期よろしく願いいたします。

○支部役員・各支部窓口(敬称略)

支部長	No.239	伊藤	寛
総務担当	No.1041	中西	岩夫
	No.1161	永島	和雄
会計担当	No.1079	川地邦仁子	
ゴルフ担当	No.1336	森田	公之
・各支部窓口			
関東甲信越	No.1244	金井	修二
北海道支部	No.625	工藤	俊一
関西支部	No.1399	山本	勝也
	No.1338	坂本	茂樹
東海支部	No.1079	川地邦仁子	
九州支部		支部対応	

○今期活動計画予定

・サロン会

7月25日(土曜日・18:00～中華エガティップチョークデイ)確定

12月12日(土曜日・18:30～セントラ ドゥワ
ンタワンホテルまたは、エガティップチョーク
クデイ:参加人数により検討)

1月23日(土曜日・18:30～セントラ ドゥワ
ンタワンホテル)

・ゴルフコンペ

7月15日(水曜日) ランナーゴルフ場
日程後日連絡 ランナーゴルフ場

○チェンマイの話題

チェンマイの今の話題は、暑くて電気代がか

かる。何時両替したら良いのかな? 円安と物価高で30%は上がっているね。と言うものですが、例年に比べ、ゴルフ場は空いていると皆さん感じているようです。

南国暮らしの会員の方は、基本的に、日本の各支部でのサロン会へ出席され情報や、人脈を作られてから、チェンマイへステイされているのと、滞在されている方に比べて、短期での滞在の方が多いため、集中して楽しみたいという傾向があります。全体でのイベントは、年にサロン会3回、ゴルフコンペ2回ですから、それ以外は、気の合う仲間と食事や旅行と、また、日本の支部中心に食事会、趣味つながりで、テニス、卓球、バドミントン、ヨガ等、多くの選択肢があります。また長期滞在や、訪チェンマイから始めてからの期間が長い会の方は、会以外の方との交流も多かったり、チェンマイでのロングステイの会に所属しているケースも多く見受けられます。

新しくチェンマイへ訪れる会員の方で、戸惑われる方もいらっしゃるかもしれませんが、ご自分でまずは連絡入れてみてからが、スタートです。

まずゴルフに関しては、担当の森田さんに参加の旨、連絡を入れてみてください。ゴルフ希望の方の人数が多いので、お出かけ情報でのお誘いの返信は出来ませんので、ご了承ください。

今期、試験的に、ロングステイ希望の方で、始めてチェンマイへ訪れる方への、アドバイスと自宅訪問を実施させていただきます(担当:総務、中西・原則メールにてご連絡ください)。

最後に、タイの国民性や、商習慣がありますので、借りる、買う、予約等は、人に頼らず、ご自分の目で確認して、ご判断お願いいたします。

「病院も、日本と変わらない医療で安心ですよ」などと言う方もいらっしゃいますが、設備も通訳も金額も大きな差があります。楽しいロングステイの為の準備怠りなく、お越しお待ちしております。

バギオ・パンガシナン支部便り

支部長 No.227 齋木 一

バギオ・パンガシナン支部が位置する北ルソンは、例年になく暑い夏でしたが、今は雨季・台風シーズンです。日本も暑い夏なのではと心配しています。

今年は2020年の東京オリンピックを控えて日本旅行熱が高まり外国人観光客が大勢日本を訪れていますね。フィリピン人の姿も多くなったと聞きました。

フィリピン、国内経済が好調で、国民生活も向上しています。豊かになってきたフィリピン人の旅行熱、急速な高まりを見せています。

国際観光都市バギオや、南シナ海に面したリゾートを持つバギオ・パンガシナンにも多くのフィリピン人観光客が来るようになりました。従来のバギオのシーズンは、11月から5月までの乾季でしたが、今年はやや様変わりです。

雨季になっても週末のバギオや海浜リゾートには観光客が詰め掛けています。いままではバギオのホテルや短期貸し別荘が雨季になるとシーズンオフ料金として値引きしていましたが、今年は週末のホテルの料金強気です。

マニラからのアクセスも随分良くなりました。相変わらずバスの便が頼りですが、高速道路の延伸工事が進んで時間随分短縮されています。夜間なら5時間を切るほどです。

南シナ海に向けた海浜リゾートを多数有するパンガシナンもバギオと同じ様な状態です。とくに西の端に位置するボリナオの人气が高まって、週末のマニラからボリナオに向かう高速バスは順番待ちの状態です。

海岸沿いの町々に外国人の長期滞在者の姿が多く見られるようになってきました。マニラ首都圏や有名リゾートに比べて生活費が安いのが魅力です。

反対に日本人の長期滞在者、少なくなっています。続く円安の影響でしょう。

バギオは国際観光都市ですから物価はあまり安いとはいえませんが、パンガシナン、まだまだリゾートとしてはマイナーです。

円安のこの時期、日本から近い海外長期滞在先として見直してもいいでしょう。

ダバオ支部便り

支部長 No.1261 藤本 晴久

ダバオの特産品は？ と質問されピンとこられる方は少ないと思います。

最も有名なものは、“結構毛だらけ…もってけどろぼ〜”の寅さんの口上でお馴染みのバナナです。もともとバナナと言えば“台湾バナナ”が有名でしたが1975年ごろから海外から日本への輸入がフィリピンが1位となり、それらの内90%がダバオ近郊から出荷されています。私の小さい頃はバナナは高級フルーツで遠足のおやつにバナナを持たせてもらった時は嬉しかったものです。今では手頃な価格となり年中スーパーの棚で見かけるものですから希少性はなくなりましたが黄色いバナナを見ると今だに幸せを感じるの私だけでしょうか？ とは言え出荷段階では検疫の問題で青色で低温船で約7日間かけ日本に運ばれ熟成庫で黄色い柔らかいバナ



バナナ洗浄



バナナの房



バナナの苗

ナに変わります。日本で見られる5本～6本パックも既にフィリピンの出荷段階でされています。またバイオの技術の発達で農園すべて同じ遺伝子の苗が使われておりほぼ同じ大きさの房がなります。これらも含め観光用の見学コースをくんでいる農園もありますので、ダバオにお越しの際はおとずれて見てはいかがでしょうか。

水平線に続くバナナの木々を見て昔バナナを見てワクワクした気持ちを思い出してみてください。その他、コーヒー豆、ドリアン、マグロなどがありますのでスーパーなどで色んな種類を試して下さい。日本では体験できない新たな発見があるかも？

ペナン支部便り

支部長 No.1546 渡邊 照夫

2015年度ペナン支部の役員が決まりましたのでお知らせするとともに、今後ともよろしくお願い致します。

支部長 渡邊 照夫(No.1546)

副支部長 横山 豊(No.330)

広報 高木 進(No.1284)

会計 並木 綾子(No.1334)

記録 野一色博子(No.37)

サロン会 川崎 千恵(No.524)

○本年度の活動予定

2015年 6月 総会及びサロン会

8月 BBQ

10月 サロン会

12月 サロン会

2016年 2月 BBQ

その他、昨年同様、会員並びに外部の方からによる情報交換(経験談等)、勉強会(PC教室等)、ゴルフコンペの開催を予定しています。

また、広報活動として内外を問わず、随時継続的にペナン支部の情報発信を行っていきます。

マレーシアは、財団法人ロングステイ財団の調査において、9年連続(2006～2014年)で日本人が住みたい国「世界No.1」に選ばれており、ここ数年、他のアジア地域の人気が高まりつつある中でも一番の人気を誇っています。また、マレーシアの長期滞在ビザ(MM2H)の日本人取得者数においても、2012年は前年に比べて約2倍に増え、国別ランキングで2年連続で首位に躍り出るなど、日本人のマレーシア移住が大変人気を博していることがデータでも裏付けられています。

マレーシアが選ばれる最大の理由の一つは、“日本よりも安い生活費で、日本より高い生活水準を享受できる”からですが、多民族国家で外国人を受け入れやすい土壌であること、世界有数の親日国家で国民もフレンドリーであること、一年中常夏で過ごしやすいこと、衛生的で治安が良いこと、英語が通じること、医療水準が高く日本語対応可能な病院が多いこと、花粉症がないこと、地震・台風・火山といった天災がほぼないこと等、他地域を圧倒する数多くの魅力が人気を後押ししています。

さらに、マレーシアには住民税や相続税・贈与税などがいないため、税制面において日本より有利です。

当地、ペナンでの滞在を考えておられる方も多いと思います。ぜひ、ペナンへ足を運んでいただき、会員との交流・情報交換を図りながら南国暮らしの実現に向けて一歩前進してみてください。会員一同お待ちしております。

部 会 伝 言 板

総 務 部 会

担当理事 No.1607 阿部 滋敏

5/31総会も終わり、平成27年度が本格的にスタートしました。今年度は5/16第6回理事会で決まった通り、理事長・副理事長・各部部长による部会長会議を発足させ、理事会に合わせ年内に3回ほど会合を持つことにしました。内容は組織体制の中期計画を立てることと、今年度の赤字予算を実行ベースで少しでも減らすこと、2009年以来見直されていない「役員必携」の見直しをすることなどです。各部会の皆様のご理解とご協力をお願い致します。

【部会メンバー】

1607 阿部滋敏(部会長)、996 歌田晃一(副部会長)、1591 肥後信彦(副部会長・経理担当)、1309 青木一義、1537 鈴木元恵、1612 堀江健夫、1640 川野俊次

【主な活動計画】

- ・2015年度事業計画策定 6/13
- ・都庁への事業報告、役員変更等届出提出 6/19
- ・法務局への変更登記申請 6/19
- ・2015年度事業計画中間検討 10/10
- ・役員必携の見直し 12/5 目標
- ・2016年度体制、予算策定 12/5 依頼、3/12 検討、4/9 承認
- ・理事会開催(6回)、部会長会議開催(3回) 6/13、10/10、12/5
 - 第1回～第3回理事会並びに部会長会議 3/12、4/9、5/14
 - 第4回～第6回理事会
- ・役員・支部長会議開催 5/28
- ・総会開催 5/29

広 報 部 会

担当理事 No.1207 宮原 正宇

新年度を迎え、広報部会も新たな陣容で活動を開始しております。

今年の新メンバーを紹介します。

No.1207 宮原正宇(部会長)、No.1388 寺田光江(副部会長)、No.1668 榎野昭一

*No.1118 肥後憲尚(広報委員会委員)

上記メンバーで活動開始、まず手始めとして新年度スタート月の6月中に、例年恒例の関係各官公庁への挨拶回りを実施、大野理事長にも同行頂き、部会全員で、ロングステイ財団を始め、タイ、マレーシア、フィリピンの各観光庁を巡り名刺交換して親交を深め、今後の貴重な情報取りの為のパイプ強化に努めました。

また同月27日には、ロングステイ財団主催の「ロングステイヤーの集い」に招かれ、これも部会全員で参加し、「南の会」のPRと、新入会員募集に取り組みました。

更に「南の会」にとって一大行事ともなったロングステイ財団主催の「ロングステイフェア」に今年も出展予定にて、7月から既にその為の企画運営準備に向け、取組開始しております。

なお、年間を通じて主要な新聞社や、出版社、テレビ局等のメディアとも積極的に交流を深めるなかで、皆様に喜ばれるお役立ち情報を沢山キャッチして、月例サロンの席上や、BBS掲示板でご提供出来るよう頑張っております。

今年の広報部員は例年にも増して、意欲満々積極果敢、みんな燃えておりますので、今後の活動に「乞う、ご期待」。

会 員 部 会

担当理事 No.1108 山田 美弥子

新年度の会員部会担当を紹介します。

会員部会長 No.1108 山田美弥子

No.1209 澁谷幸一 No.1388 寺田光江
 No.1533 森川文枝 No.1668 横野昭一
 No.923 永田隼人

会員部会の主な業務

1. 会員名簿の管理

新会員の登録・再入会・休会・退会・住所
 変更・メールアドレス変更等、会員の情報
 を一括管理しています。

2. 会員名簿の作成・発送

年1回、会員名簿および索引を作成し会報
 と一緒に会員へ発送しています。

3. 会報発送用の宛名シールの作成

年3回発行の会報用発送宛名シールを作成
 しています。

4. 会員の継続手続きと表決権者の確定作業
 次年度の継続会員手続きを行うとともに、
 総会に必要な表決権者を確定する事務を
 行っています。

5. 入会資料の送付

南の会HPや新聞・雑誌等で、当会に興味
 をもたれ資料請求された方へ関係資料を送
 付しています。

会員部会からご協力のお願いです。住所およ
 びメールアドレスを変更された場合は必ず会員
 部会へ連絡をお願いします。貴重な情報源であ
 る会報が届かなくなりますし、南国BBSもご覧
 いただけなくなります。

会員部会アドレス：kaiinn.bukai@gmail.com

南 国 暮 ら し の 会 支 部 一 覧

2015年9月現在

支部名	会員番号	支部長名	e-mail アドレス
北海道支部	1285	桂 裕章	hiro-katz1743@nifty.com
東北支部	498	氏家 孝	takashiujiie3322@yahoo.co.jp
関東甲信越支部	1118	肥後 憲尚	higoyoshi@hotmail.co.jp
東海支部	1544	森 幸太郎	moro-12-13-18@herb.ocn.ne.jp
関西支部	173	平山 三雄	hira629@yahoo.co.jp
九州支部	581	朝永 清寿	ktomo581@yahoo.co.jp
チェンマイ支部	239	伊藤 寛	kan_itoh_9@hotmail.com
バンコク支部	-		
ペナン支部	1546	渡邊 照夫	ftxqj863@ybb.ne.jp
クアラルンプール支部	1682	守田 章	akirmori@hotmail.co.jp
マニラ支部	999	中山 恒夫	kazuyo.nkym@gmail.com
セブ支部	1124	田上 篤	3159atsushi@gmail.com
バギオ・パンガシナン支部	227	斎木 一	saikihajime@hotmail.com
ダバオ支部	1261	藤本 晴久	katorudawann@yahoo.co.jp
ハワイ支部	1016	村林 修次	mura-sakytakyj@d4.dion.ne.jp
ゴールドコースト支部	※ 586	磯崎 興志	iso4549@sirius.ocn.ne.jp

※は支部長代行

友好団体紹介コーナー

★一般財団法人ロングステイ財団

<http://www.longstay.or.jp>

★チェンマイロングステイライフの会 (CLLクラブ)

<http://cll.thaijp.net/>

★ワールドステイクラブ (WSC)

<http://homepage3.nifty.com/worldstayclub/>

★THE JAPAN CLUB OF KUALA LUMPUR KL

(クアラルンプール) 日本人会

<http://www.jckl.org.my/>

★北ルソン日本人会 (JANL)

<http://janl.exblog.jp>

編 集 後 記

ギリシャ経済の破綻、中国株の下落、TPPの行方とは、世界経済情勢に何やら不穏な陰りが見える昨今、国内に目を転じても集团的自衛権の結末は如何に、オリンピック競技場はどうすると、やたら騒がしく、各地の火山が不気味に鳴動し、台風がいつべんに三つも襲ってくる異常気象に不安が募る今日この頃。

しかるに南の会の会員各位におかれては、かかる事象には頓着せず、暖かい南の国々で遅れて来た「青春」を謳歌し、余生を存分に楽しませておられる事と拝察いたします。

この度の夏秋号編集にあたっては、特に会報部会長の涙ぐましいご努力の甲斐もあって、予定の紙面を埋めるに十分な原稿が集まり、一部の方々には紙面の都合上、次号送りにさせて頂くべく、お詫びに奔走する等、嬉しい悲鳴をあげる始末にて、これも一重に会員の皆様の暖かくかつ熱心なご支援の賜物であり、この紙面をお借りし、改めて心より御礼申し上げます。

なお、前号で好評であったKL特集に続きこの度はフィリピン特集を特に目玉の一つとして取り上げ、編集致しております。

皆様から頂いた珠玉の力作原稿を読ませて頂くにつけ、その文面から漂ってくる其々の国や地域のそこはかとなき風の香りや、生々しい民人の生活臭、美しい花々の芳しさや、珍しい食べ物の混然とした匂い等々がじかに感じられ、編集という仕事の大変さもさることながら、こ

れら力作を如何に読みやすく、かつ上手に紙面に組み込むか、いかにしたら皆様に楽しく読んで頂けるかと、一人悦に入りながら原稿を読ませて頂くこの楽しいひと時こそ、まさに至福の時であり、会報委員に与えられた特権でもあります。

今後ともこの至福の時を引き続き享受させて頂きたく、またこれからも更なる力作をどしどしと投稿頂くことで、全国各地のお仲間へ生きた情報をお届け頂きますようご支援、ご協力のほど、御願ひ申し上げます。

No.1309 青木 一義

No.1207 宮原 正宇



「南国暮らしの会」から `自己責任の徹底!`

南国暮らしの会は南国暮らしの情報提供・交換・親睦の場です。これらを基にした集会・行事・旅行、或いは不動産の購入などについて、個々人の自己責任であることを肝に銘じて判断し行動してください。すべての判断・決定は自己責任です！

(参照：「南国暮らしの会」細則第10条【自己責任の原則】)

【連絡先一覧】

- (1) メールアドレスの変更 mail.iinkai@gmail.com
 - (2) 会員関係 (住所変更など) kaiin.bukai@gmail.com
 - (3) 経理関係 (会費、名刺ロゴマークなど) keiri.iinkai@gmail.com
 - (4) その他一般 home@minaminokai.com
- (メールには用件の他に会員番号、氏名、ご自分のメールアドレスを明記して下さい。)

[編集委員]

No.1309	青木 一義	No.1108	山田美弥子
No.1207	宮原 正宇	No.1208	澁谷 幸一
No.1578	山本 雅巳	No.1581	黒川 敏彦

記事の無断転載・複製を禁じます。

発行者 特定非営利活動法人 (NPO法人)

「南国暮らしの会」

©minaminokai

理事長 大野 悦子

<http://www.minaminokai.com/>

E-mail: info@minaminokai.com



投稿写真コーナー



2015年度役員



北海道支部 総会



東北支部 総会



ハワイ支部 15周年サロン会



チェンマイ ポンカウ温泉